

平成29年度 行政評価結果

【第2巻 戦略プロジェクト評価】

評価からはじめるまちづくり

平成29年12月

盛岡市

目 次

I 戦略プロジェクトについて

- 1. 戦略プロジェクトとは何か 1
- 2. 平成29年度戦略プロジェクト 1

II 戦略プロジェクト評価について

- 1. 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか . . . 2
- 2. どのような仕組みか 3
- 3. 評価結果を何に反映させるのか 3

参考資料1：戦略プロジェクト評価シートの見方 . . . 4

参考資料2：戦略プロジェクトロジックモデル
シートの考え方 7

参考資料3：戦略プロジェクトロジックモデル
シートの見方 8

◎ 子育て応援プロジェクト 9

◎ きらり盛岡おでんせプロジェクト 19

◎ 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト . . . 29

I 戦略プロジェクトについて

1 戦略プロジェクトとは何か

平成27年度からスタートした総合計画の基本目標*¹を達成するため、各分野の29施策*²において、それぞれ取組を推進していく一方で、未来に向け、特に重点的・施策横断的に取り組む必要のある課題に対応するため、施策単位での取組を連携させながら事業実施の効果を高め、課題を解決し、基本目標の達成や将来像の実現を目指していく必要があります。

このことから、本市の課題等を踏まえた、重点的・施策横断的な取組を「戦略プロジェクト」として展開します。

取組期間は、おおむね3年を目途に重点を置いた取組を進めます。

*¹ 基本目標

総合計画の基本構想に掲げている「目指す将来像」の実現のため、まちづくりの理念や方向性を表したもの

*² 施策

目指す将来像の実現に向けて取り組む課題を明確にするために、4つの基本目標の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。

2 平成29年度戦略プロジェクト

◎ 子育て応援プロジェクト

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実します。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現します。

◎ きらり盛岡おでんせプロジェクト

歴史，自然，文化，先人，まち並みをはじめとする，本市の恵まれた観光資源を生かし，盛岡の魅力に触れ，満足してもらうため，新たな観光資源の開発や掘り起こし，ブラッシュアップを推進します。

また，北陸，北海道新幹線の開業をチャンスと捉え，盛岡のきらり光る魅力を発信し，更なる交流人口の増加と盛岡ファンづくりを推進します。

◎ 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト

本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに，関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図ります。

また，戦略的な企業誘致や企業支援のほか，新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の促進により，活力あふれるまちづくりを推進します。

Ⅱ 戦略プロジェクト評価について

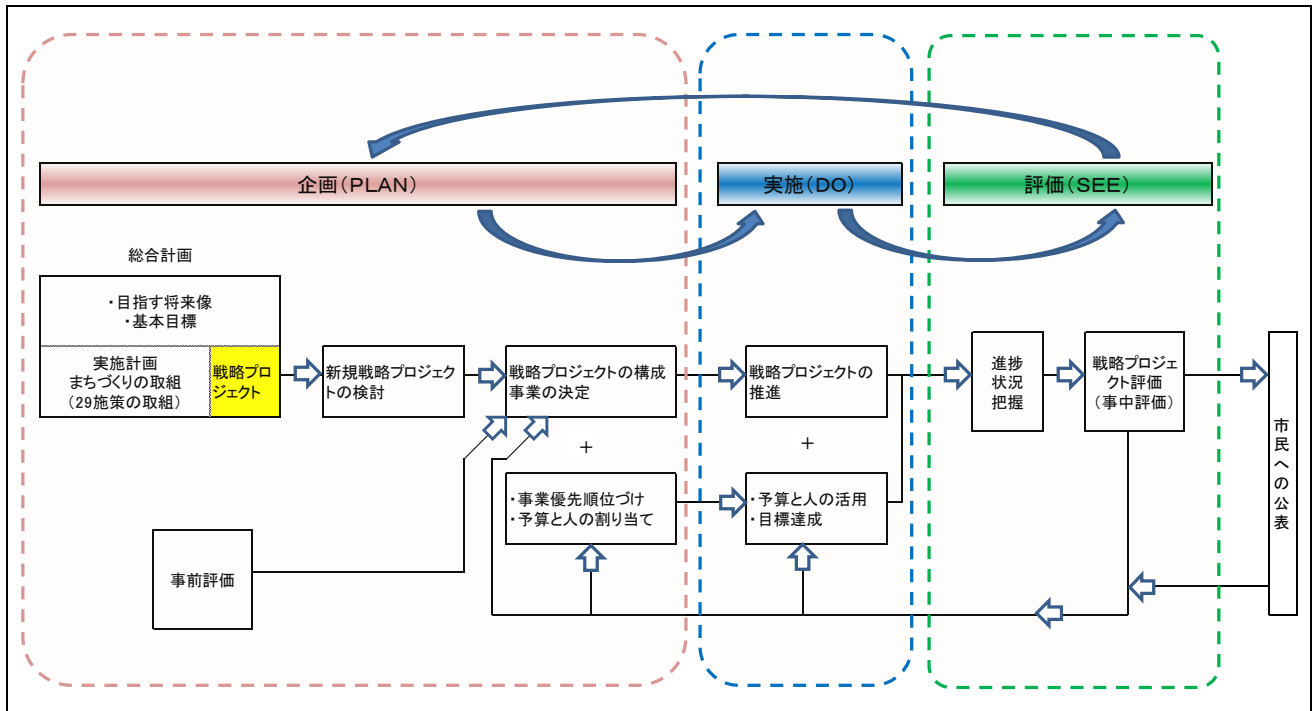
1 戦略プロジェクト評価は何のために行うのか

戦略プロジェクト評価は，各戦略プロジェクトの目的や目標がどこまで達成されたか等の視点により評価するものです。

また，戦略プロジェクトは，設定した取組期間内において目標を達成することが求められていることから，前年度の実績を踏まえながら当該年度の評価時点における進捗状況評価（事中評価）を実施することで，戦略プロジェクトの着実な推進を図ります。

2 どのような仕組みか

企画（PLAN）→実施（DO）→評価（SEE）の循環（マネジメントサイクル）を活用し、戦略プロジェクトの取組について振り返りを行うことにより、次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。



3 評価結果を何に反映させるのか

戦略プロジェクト評価の評価結果は、今後の戦略プロジェクトの推進や構成事業の見直しに活用するとともに、戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現に向けて特に高い効果が得られる事業に対し、重点的に予算を配分するなど、予算編成に活用することとしています。

戦略プロジェクト評価シート (H29 事中評価)

戦略プロジェクト名	子育て応援プロジェクト		
主管部等名	子ども未来部	部コード	17
戦略プロジェクト統括マネージャー	子ども未来部長 志賀 達哉	内線番号	691-6400

戦略プロジェクトの中心事業を所管する部等の長を、「戦略プロジェクト統括マネージャー」としています。

Step 1 戦略プロジェクトの全体像

1 戦略プロジェクトの概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

戦略プロジェクトへの設定理由	生産年齢人口の減少が進む中、活力ある社会を築いていくため、若い世代にとって暮らしやすい、また女性にとって社会進出や子育てがしやすいなど、若い世代や女性が住み続けたいくなるまちをつくること为本市の重要課題となっている。
戦略プロジェクトの取組内容	若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させる。 また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現する。
重点取組期間	平成27年度～平成29年度
期待する効果	みんなで子育てを支えるまちになる
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	小学生までの子を持つ親
意図 (対象をどのようにしたいのか)	子育てにやさしいと感じる人が増える。
目標指標	待機児童数 0人(平成29年度末)
	まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 16.4%(平成29年度末)
	まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 30.2%(平成29年度末)

戦略プロジェクトの取組期間は概ね3年を目途に進めていきます。

戦略プロジェクトを構成する様々な分野の事業を実施し、相乗的なつながりを生むことで「期待する効果」の実現を目指して行きます。

戦略プロジェクトの期待する効果の達成度を表す指標を「目標指標」としています。

Step 2 目標指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていくことを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績(評価時点)	29年度目標
A 待機児童数*	人	54 (H26.4.1)	9 (H27.4.1)	0 (H28.4.1)	0 (H29.4.1)	- (H30.4.1)	0
B まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	%	19.2	19.3	22.0	24.0	-	16.4
C まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	%	17.0	15.5	13.3	15.2	-	30.2

戦略プロジェクトの達成度等を検証しています。

目標値設定の基準年である25年度実績を記載しています。

「↑」は数値を上げていくことを、「↓」は数値を下げていくことを、「→」は、現状を維持していくことを目標とするものです。

*毎年4月1日現在の数値を用いている。

Step 3 戦略プロジェクトの進捗状況

待機児童の解消に向けて、私立幼稚園の認定こども園への移行支援、私立保育所の新設、入所円滑化による保育所定員の弾力化などに取り組んでいる。

市民・市民団体等による子育て支援活動の促進や、子育ての不安感・孤独感の解消を図る拠点として、室内遊び場、託児室、リラックスルーム等を備えた公共エリアと、託児機能付きオフィスやカフェを備えた民間事業エリアを公民連携により運営する「子育て応援プラザma*mall」を設置し、公共エリアを先行して4月に開所すると共に、民間事業エリアも開所準備を進めており、社会全体で子ども・子育てに参画するまちづくりに取り組んでいる。

また、企業・団体・個人から子ども未来基金に寄附を募るとともに、子ども未来基金を活用し、市民、団体、企業などが主体的に行う子ども・子育て支援活動に対し、助成をするなど、市の未来を担う子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指す取組を進めている。

戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現に向けて、目標指標の実績が設定している目標値に対してどのような水準なのか(現時点での実績値としては順調に推移しているのか)等、戦略プロジェクト全体の進捗状況について記載しています。

Step 4 市民ニーズの把握

まちづくり評価アンケートにおいて、半数以上の子を持つ親は子育てについて「楽しい」、「どちらかといえば楽しい」と感じる人が多いと回答している一方で、「つらいと感じている」と答えた割合は24ポイントいることから、より一層の施策の推進が求められている。

戦略プロジェクトに関連する市民のニーズについて記載しています。

Step 5 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

前年度の戦略プロジェクト評価で分析した改革改善案を記載しています。

(1) 待機児童の解消

保育所の整備等ハード面の取組と並行して保育士の確保に向けて、保育士が働き続けるための処遇改善等の環境整備にも取り組む必要がある。特に若い保育士が市内の保育施設に就労し、働き続けることができる支援に取り組んでいく。

(2) 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

少子化、核家族化が進んでいることにより、子育て世帯が孤立化しないように、地域や行政など多様な主体が連携・協働して、子育てに対する不安や負担を和らげる環境づくりに取り組んでいく。

(3) 医療費助成の拡充による子育て世代の経済的負担の軽減

医療費助成の対象を拡充することにより、子育て世代の経済的な負担の軽減に取り組む。平成28年度は、4月から小学生の医療費助成をこれまでの入院のみから通院まで拡充した。また、8月からは、就学前の児童に対して医療費助成における現物支給方式を導入している。

2 1の改革改善案の実施状況

1の改革改善案の実施状況について記載しています。

(A：着手済、B：平成29年度に着手（予定含む）、C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
保育士確保対策事業	市内の保育施設に勤務する採用後3年以内の保育士の奨学金返済の一部を補助する。	B
子ども未来基金事業 (子ども未来基金造成事業)	市の積立金及び市民等からの寄附金を財源として、市民・地域団体・企業等が行う子ども・子育ての取組を支援する。	A
子育て応援プラザ運営事業 (少子化対策(子育て支援)事業)	「子ども」をキーワードに市民、地域団体、市民活動団体及び企業等が連携、交流できる場として、子育て応援プラザを公民の連携により運営する。	B
医療費助成事業の拡充	小学生の医療費助成を通院まで拡充。また、就学前の児童に対して医療費助成における現物支給方式を導入した。	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

改革改善案の実施状況が未着手または見送りとした場合に、その原因を記載しています。

Step 6 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

戦略プロジェクトを展開した結果、顕在化した成果について記載しています。

(1) 戦略プロジェクトの中で特に成果をあげた点

ア 待機児童の解消

- 待機児童解消強化事業において、定員の弾力化に取り組んだことにより、入所児童数の定員が8園で40人分拡大し、4月1日時点における待機児童数0人に貢献している。
- 認可保育所や小規模保育施設の新規開設等の整備に積極的に関わり、保育所定員を274人増やすことに大きく貢献している。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- 子育て応援プラザを設置し、室内遊び場、託児室、リラックスルーム等を備えた公共エリアを4月に開所し、7月末までに2,000人を超える多くの市民・市民団体等に利用されたことにより、子育ての不安感・孤独感の解消を図った。
- 子ども未来基金を活用し、市民、団体、企業などが主体的に行う子ども・子育て支援活動に対し、平成28年度は6件の助成を行い、平成29年度は10件の助成を行う予定としており、社会全体で子ども・子育てを支えるまちづくりの取組を推進した。

(2) 成果をあげた要因

1(1)で記載した顕在化した成果の要因について記載しています。

ア 待機児童の解消

- 待機児童が多い3歳未満児を対象とする小規模保育などの地域型保育事業を導入しようとする事業者の開設計画に際し、保育事業に取り組む施設数を増加させることができた。
- 定員の弾力化について多くの保育園の協力が得られた。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 子育て応援プラザの設置に当たって、商業施設や映画館などの施設が多数ある利用しやすい立地条件の場所に設置したことや、市民アンケートやワークショップを実施し、市民ニーズを反映させた機能を備えることができた。
- ・ 子ども未来基金について、平成29年度子ども・子育て支援事業へ41件の応募が寄せられたことから、市民が主体となって子ども・子育てを支援する取組の推進が図られてきた。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

ア 待機児童の解消

- ・ 国の定義に基づく待機児童数は0人となったが、女性の社会進出や育児休業後職場復帰するため保育所の入所希望者が増加し、年度が進むに従い待機児童は発生し、年度末に向けて増加する傾向にあることから、さらに定員の拡大を進める必要がある。
- ・ 定員拡大を進めることで保育士も必要になることから、雇用を増やすために保育士が働きやすい環境を整備する必要がある。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 子育て応援プラザについて、より多くの市民・団体等に利用してもらうよう、運營業務受託団体等と協力しながら積極的に周知を図るとともに、民間事業エリアの早期事業開始が求められる。
- ・ 子ども未来基金について、基金の運用が長く続くよう、市民・団体・企業等に寄附の宣伝・周知を図る必要がある。

1(1) 及び(2) において記載した顕在化した成果とその要因を踏まえ、今後さらに成果を上げるために取り組むべき課題を記載しています。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトにおける現状の問題点（特に改善を急ぐべき点）

ア 待機児童の解消

- ・ 保育需要の増加が急速なペースで進行していることから、待機児童の解消の取組が追いついていない。
- ・ 保育所定員の拡大とともに保育を担う保育士の確保が課題となっている。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合が平成28年度で24.0%となっており、「盛岡市子ども・子育て支援事業計画」で掲げた平成31年度目標値の14.5%の達成に向けて、子育てに対する不安や負担を和らげる環境づくりが求められている。

戦略プロジェクトを展開した結果、特に改善を急ぐべき点・留意すべき点について記載しています。

(2) 現状の問題点が生じている原因

ア 待機児童の解消

- ・ 保育所の新設等が新たな保育需要を発生させている。
- ・ 女性の社会進出等雇用の拡大により保育を必要とする者が増加している。
- ・ 雇用主と就職希望者との間で雇用条件のミスマッチが生じていることから、保育士の確保が困難となっており、保育所定員の拡大が進まない状況となっている。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 少子化、核家族化が進んでいることにより、閉塞的な環境の中で子育てしている世帯が増加している。
- ・ 要保護児童・要支援児童の増加、子どもの貧困など、複数の困難を抱えている世帯が増加している。

2(1) で記載した問題点が生じている原因を記載しています。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

ア 待機児童の解消

- ・ 認可保育所の新設や幼稚園の認定こども園化及び地域型保育事業の推進により定員の拡大を進める必要がある。
- ・ 保育士の確保に向けて、保育士が働き続けるために障害となっている処遇改善や、出産・育児との両立支援など潜在保育士が現場復帰しやすい環境づくりに取り組む必要がある。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

子育て中の親が気軽に相談できる拠点づくりや、子どもの居場所作りの取組など、地域、民間団体、行政など多様な主体が連携した、社会で子育てを応援する取組の推進が必要と考えられる。

2(1) 及び(2) で記載した問題点とその原因を踏まえ、改善するために取り組むべき課題を記載しています。

Step 7 Step 5, 6 を踏まえた改革改善案

1 待機児童の解消

- ・ 今までは社会福祉法人等からの相談に応じながら、私立保育所等の新設や増改築等の整備を進めてきたが、幼稚園へ認定こども園への移行の積極的な働きかけ、認可外保育所が地域型保育事業への転換できるような助言・指導を行うなど積極的に定員拡大に取り組んでいく。
- ・ 保育士の資格を取得した若い世代が、市内の保育施設に就労しやすいような補助制度の検討など、保育士の確保のための施策に取り組んでいく。

上記の分析結果を踏まえた具体的な改革改善案を記載しています。

【参考資料2：戦略プロジェクトロジックモデルシートの考え方】

ロジックモデルシートは、各事業がどういった論理(ロジック)で戦略プロジェクトの期待する効果に至るのか、その過程を、数段階(直接の結果、一次成果、二次成果、三次成果...)に分割して表現しています。つまり、直接の結果から右へ順に、時間の経過にともなう成果の流れを表しています。

※ロジックモデルとは、達成したいと考える戦略プロジェクトの期待する効果に対して、各事業がどのような因果関係にあるのかを体系的に図示した流れ図のことであり、事象の構造を抽象して論理的に形式化した仮説です。ロジックモデルシートを作成するに当たっては、経験と事業実績に基づいて、[こうなることによってこうなる、その結果こうなる...]という論理の流れを考えます。このような論理的な根拠を持ったより良い仮説を立てることが、より有効性の高い事業をつくりだすことにつながると考えています。また、毎年このロジックモデルを検証し、見直すことによって、「戦略プロジェクトの期待する効果」の達成を目指します。

ロジックモデルシート(H29事中評価)

戦略プロジェクト名

主管部名

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト
【事業概要】 【H27事業費】 【H28事業費】 【H29事業費】 【事業担当課】 【実施内容】	事業の具体的な内容を記載します。	事業の対象者(受益者)、対象物が直接的に得られるものや行動を記載します。	対象者(受益者)、対象物の意識、行動や状態の変化を数段階に分割して記載します。 一番右側にきた成果が、戦略プロジェクトの目標、期待する効果を直接的に押し上げる成果になります。	
【進捗状況】	※ロジックモデルの例 <pre> graph LR A[盛岡ブランドフォーラムを開催する] --> B[盛岡ブランドフォーラムに市民等が参加する] B --> C[盛岡ブランドの認知度が向上する] C --> D[盛岡を好きだと思える人が増加する] D --> E[盛岡の価値や魅力を発信する人が増える] </pre>			

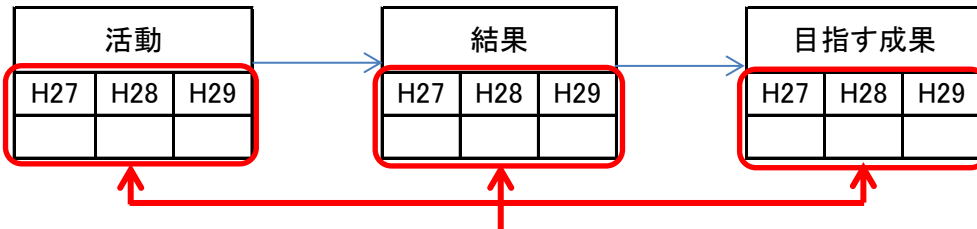
【参考資料3：戦略プロジェクトロジックモデルシートの見方】

【事業名・事業概要等】

戦略プロジェクトに構成されている全ての事業が記載されています。

【活動・結果・目指す成果】

- 1 活動…事業担当課のしごと(イベント, 行動, 技術・サービスなど)
- 2 結果…「活動」の対象が直接的に得るものや行動
- 3 目指す成果…「活動」で得られた利益や変化
(左から右へ1次成果, 2次成果, 3次成果…と段階を経て記載しています。)



- ・各年度の実績値を記載しています。(本評価ではH27及びH28の実績値を記載。)
- ・H29の実績値については, 評価時点での実績値を記載しています。
- ・実績値を把握できない[結果], [目指す成果]については, 実績値の記載欄はありません。
- ・その他詳細については, 下記を参照してください。

【【活動】の実績値について】

- (1) H27,H28 実績値について
 - ⇒ H27 年度またはH28年度に事業を実施しなかった場合は, 斜線を引いています。
- (2) H29 実績値について
 - ⇒ 評価時点では, まだ事業を実施していない場合は, 「未」と記載しています。
 - ⇒ H29 年度に事業を実施する予定がない場合は, 斜線を引いています。

【【結果】の実績値について】

- (1) H27,H28 実績値について
 - ⇒ H27 年度またはH28年度に, [活動]が無かったため, [結果]も生じなかった場合は, 斜線を引いています。
 - ⇒ [活動]は実施されたが, [結果]が生じなかった場合は, 「0」を記載しています。
- (2) H29実績値について
 - ⇒ 評価時点では, [活動]がまだ実施されていないため, [結果]も生じていない場合は, 「未」と記載しています。
 - ⇒ [活動]は実施されているが, [結果]が生じていない場合は, 「0」を記載しています。
 - ⇒ [活動]は実施されているが, [結果]の数値が把握できていない場合は, 「未」と記載しています。
 - ⇒ H29年度は, [活動]が実施されないため, [結果]が生じない場合は, 斜線を引いています。

【【目指す成果】の実績値について】

- (1) H29 実績値について
 - ⇒ 評価時点では, まだ[目指す成果]の数値が把握できない場合は, 「未」と記載しています。

【目指す成果の状況の表示について】

評価時点での[目指す成果]がどこまで上がっているかについて下記のとおり表示しています。
また, 戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現への貢献度が大きい成果(重点的に向上を図るべき成果)と考えるものについては「◎」をつけています。

大きな成果が上がっている(出ている)		
H27	H28	H29

一定の成果が上がっている(出ている)		
H27	H28	H29

成果が上がっていない(出ている)とはいえない		
H27	H28	H29

【矢印の太さについて】

戦略プロジェクトの期待する効果や意図実現に特に貢献すると考える[成果]から[活動]までの流れ(特に重点化していきたい[成果]から[活動]までの流れ)について, 矢印を太くしています。

戦略プロジェクト評価シート (H29 事中評価)

戦略プロジェクト名	子育て応援プロジェクト		
主管部等名	子ども未来部	部コード	17
戦略プロジェクト 統括マネージャー	子ども未来部長 志賀 達哉	内線番号	691-6400

Step 1 戦略プロジェクトの全体像

1 戦略プロジェクトの概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

戦略プロジェクト への設定理由	生産年齢人口の減少が進む中、活力ある社会を築いていくため、若い世代にとって暮らしやすい、また女性にとって社会進出や子育てがしやすいなど、若い世代や女性が住み続けたいくなるまちをつくることが本市の重要課題となっている。
戦略プロジェクト の取組内容	若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境を充実させる。 また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現する。
重点取組期間	平成27年度 ～ 平成29年度
期待する効果	みんなで子育てを支えるまちになる
対 象 (誰(何)を対象として行うのか)	小学生までの子を持つ親
意 図 (対象をどのようにしたいのか)	子育てにやさしいと感じる人が増える。
目 標 指 標	待機児童数 0人(平成29年度末) まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 16.4%(平成29年度末) まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 30.2%(平成29年度末)

Step 2 目標指標の推移

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 (評価 時点)	29年度 目標
A 待機児童数* (↓)	人	54 (H26.4.1)	9 (H27.4.1)	0 (H28.4.1)	0 (H29.4.1)	— (H30.4.1)	0
B まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 (↓)	%	19.2	19.3	22.0	24.0	—	16.4
C まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 (↑)	%	17.0	15.5	13.3	15.2	—	30.2

*毎年4月1日現在の数値を用いている。

Step 3 戦略プロジェクトの進捗状況

待機児童の解消に向けて、私立幼稚園の認定こども園への移行支援、私立保育所の新設、入所円滑化による保育所定員の弾力化などに取り組んでいる。

市民・市民団体等による子育て支援活動の促進や、子育ての不安感・孤独感の解消を図る拠点として、室内遊び場、託児室、リラックスルーム等を備えた公共エリアと、託児機能付きオフィスやカフェを備えた民間事業エリアを公民連携により運営する「子育て応援プラザma*mall」を設置し、公共エリアを先行して4月に開所すると共に、民間事業エリアも開所準備を進めており、社会全体で子ども・子育てに参画するまちづくりに取り組んでいる。

また、企業・団体・個人から子ども未来基金に寄附を募るとともに、子ども未来基金を活用し、市民、団体、企業などが主体的に行う子ども・子育て支援活動に対し、助成をするなど、市の未来を担う子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指す取組を進めている。

Step 4 市民ニーズの把握

まちづくり評価アンケートにおいて、半数以上の子を持つ親は子育てについて「楽しい」、「どちらかといえば楽しい」と感じる回答が多いと回答している一方で、「つらいと感じている」と答えた割合は24ポイントいることから、より一層の施策の推進が求められている。

Step 5 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

(1) 待機児童の解消

保育所の整備等ハード面の取組と並行して保育士の確保に向けて、保育士が働き続けるための処遇改善等の環境整備にも取り組む必要がある。特に若い保育士が市内の保育施設に就労し、働き続けることができる支援に取り組んでいく。

(2) 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

少子化、核家族化が進んでいることにより、子育て世帯が孤立化しないように、地域や行政など多様な主体が連携・協働して、子育てに対する不安や負担を和らげる環境づくりに取り組んでいく。

(3) 医療費助成の拡充による子育て世代の経済的負担の軽減

医療費助成の対象を拡充することにより、子育て世代の経済的な負担の軽減に取り組む。平成28年度は、4月から小学生の医療費助成をこれまでの入院のみから通院まで拡充した。また、8月からは、就学前の児童に対して医療費助成における現物支給方式を導入している。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
保育士確保対策事業	市内の保育施設に勤務する採用後3年以内の保育士の奨学金返済の一部を補助する。	B
子ども未来基金事業 (子ども未来基金造成事業)	市の積立金及び市民等からの寄附金を財源として、市民・地域団体・企業等が行う子ども・子育ての取組を支援する。	A
子育て応援プラザ運営事業 (少子化対策(子育て支援)事業)	「子ども」をキーワードに市民、地域団体、市民活動団体及び企業等が連携、交流できる場として、子育て応援プラザを公民の連携により運営する。	B
医療費助成事業の拡充	小学生の医療費助成を通院まで拡充。また、就学前の児童に対して医療費助成における現物支給方式を導入した。	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

Step 6 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトの中で特に成果をあげた点

ア 待機児童の解消

- ・ 待機児童解消強化事業において、定員の弾力化に取り組んだことにより、入所児童数の定員が8園で40人分拡大し、4月1日時点における待機児童数0人に貢献している。
- ・ 認可保育所や小規模保育施設の新規開設等の整備に積極的に関わり、保育所定員を274人増やすことに大きく貢献している。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 子育て応援プラザを設置し、室内遊び場、託児室、リラックスルーム等を備えた公共エリアを4月に開所し、7月末までに2,000人を超える多くの市民・市民団体等に利用されたことにより、子育ての不安感・孤独感の解消を図った。
- ・ 子ども未来基金を活用し、市民、団体、企業などが主体的に行う子ども・子育て支援活動に対し、平成28年度は6件の助成を行い、平成29年度は10件の助成を行う予定としており、社会全体で子ども・子育てを支えるまちづくりの取組を推進した。

(2) 成果をあげた要因

ア 待機児童の解消

- ・ 待機児童が多い3歳未満児を対象とする小規模保育などの地域型保育事業を導入しようとする事業者の開設相談に応じ、保育事業に取り組む施設数を増加させることができた。
- ・ 定員の弾力化について多くの保育園の協力が得られた。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 子育て応援プラザの設置に当たって、商業施設や映画館などの施設が多数ある利用しやすい立地条件の場所に設置したことや、市民アンケートやワークショップを実施し、市民ニーズを反映させた機能を備えることができた。
- ・ 子ども未来基金について、平成29年度子ども・子育て支援事業へ41件の応募が寄せられたことから、市民が主体となって子ども・子育てを支援する取組の推進が図られてきた。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

ア 待機児童の解消

- ・ 国の定義に基づく待機児童数は0人となったが、女性の社会進出や育児休業後職場復帰するため保育所の入所希望者が増加し、年度が進むに従い待機児童は発生し、年度末に向けて増加する傾向にあることから、さらに定員の拡大を進める必要がある。
- ・ 定員拡大を進めることで保育士も必要になることから、雇用を増やすために保育士が働きやすい環境を整備する必要がある。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 子育て応援プラザについて、より多くの市民・団体等に利用してもらうよう、運営業務受託団体等と協力しながら積極的に周知を図るとともに、民間事業エリアの早期事業開始が求められる。

- ・ 子ども未来基金について、基金の運用が長く続くよう、市民・団体・企業等に寄附の宣伝・周知を図る必要がある。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトにおける現状の問題点（特に改善を急ぐべき点）

ア 待機児童の解消

- ・ 保育需要の増加が急速なペースで進行していることから、待機児童の解消の取組が追い付いていない。
- ・ 保育所定員の拡大とともに保育を担う保育士の確保が課題となっている。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合が平成28年度で24.0%となっており、「盛岡市子ども・子育て支援事業計画」で掲げた平成31年度目標値の14.5%の達成に向けて、子育てに対する不安や負担を和らげる環境づくりが求められている。

(2) 現状の問題点が生じている原因

ア 待機児童の解消

- ・ 保育所の新設等が新たな保育需要を発生させている。
- ・ 女性の社会進出等雇用の拡大により保育を必要とする者が増加している。
- ・ 雇用主と就職希望者との間で雇用条件のミスマッチが生じていることから、保育士の確保が困難となっており、保育所定員の拡大が進まない状況となっている。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

- ・ 少子化、核家族化が進んでいることにより、閉塞的な環境の中で子育てしている世帯が増加している。
- ・ 要保護児童・要支援児童の増加、子どもの貧困など、複数の困難を抱えている世帯が増加している。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

ア 待機児童の解消

- ・ 認可保育所の新設や幼稚園の認定こども園化及び地域型保育事業の推進により定員の拡大を進める必要がある。
- ・ 保育士の確保に向けて、保育士が働き続けるために障害となっている処遇改善や、出産・育児との両立支援など潜在保育士が現場復帰しやすい環境づくりに取り組む必要がある。

イ 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

子育て中の親が気軽に相談できる拠点づくりや、子どもの居場所作りの取組など、地域、民間団体、行政など多様な主体が連携した、社会で子育てを応援する取組の推進が必要と考えられる。

Step 7 Step 5, 6を踏まえた改革改善案

1 待機児童の解消

- ・ 今までは社会福祉法人等からの相談に応じながら、私立保育所等の新設や増改築等の整備を進めてきたが、幼稚園へ認定こども園への移行の積極的な働きかけ、認可外保育所が地域型保育事業への転換できるよう助言・指導を行うなど積極的に定員拡大に取り組んでいく。
- ・ 保育士の資格を取得した若い世代が、市内の保育施設に就労しやすいような補助制度の検討など、保育士の確保のための施策に取り組んでいく。

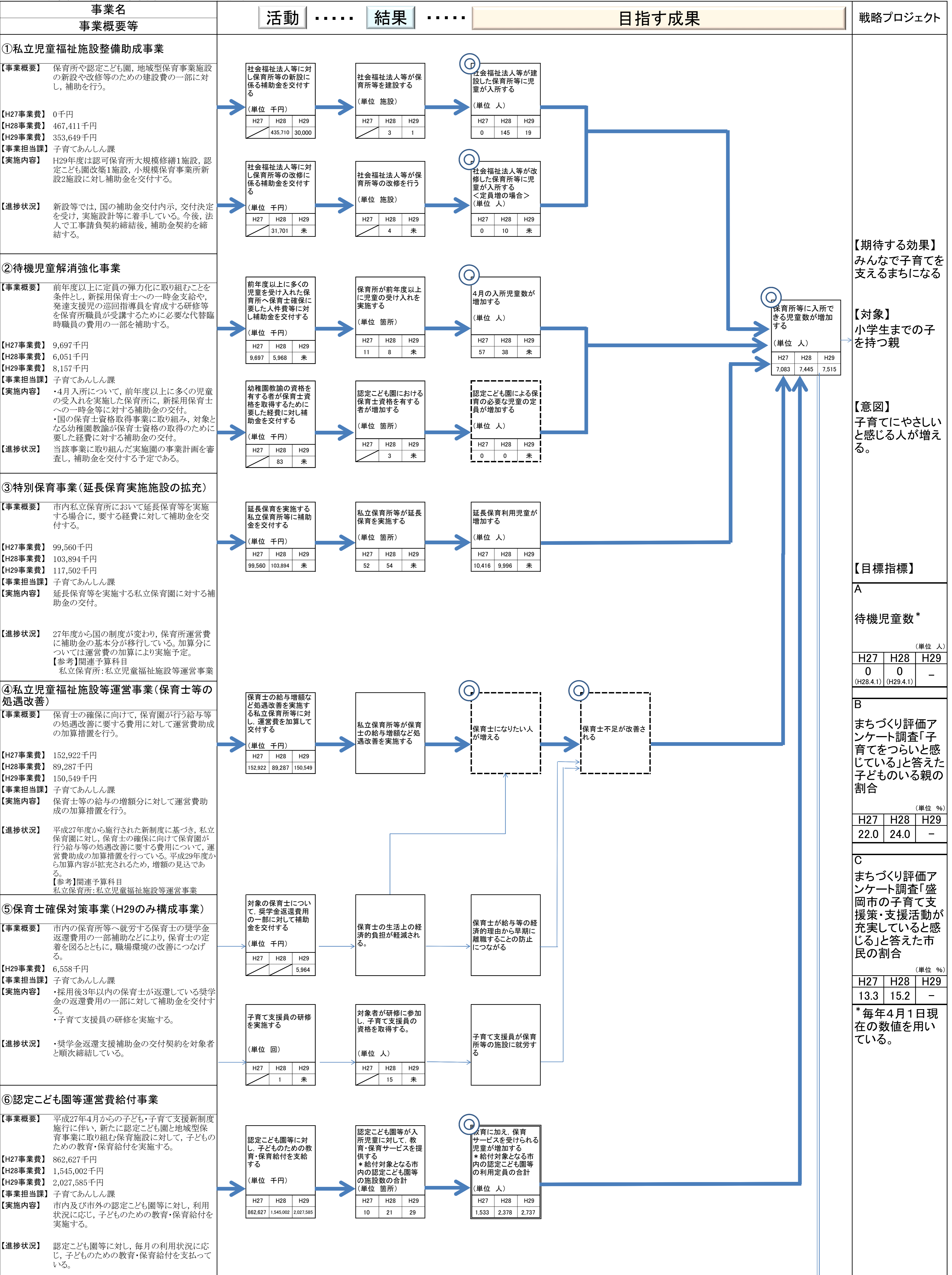
2 子育て世帯の孤立等による育児不安の解消

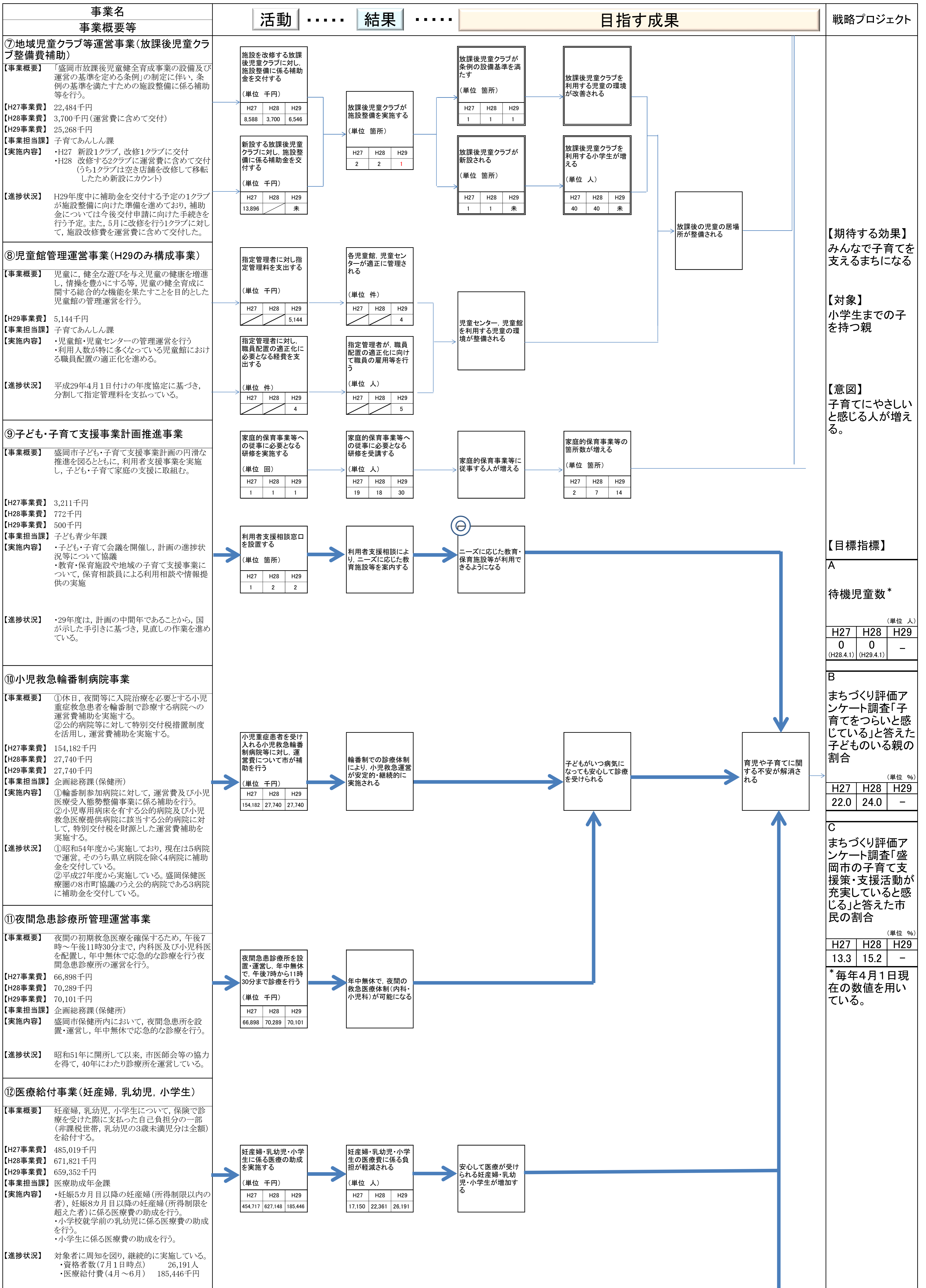
- ・ 子育て応援プラザについて、公共エリアの利用促進を図るとともに、民間事業エリアの早期運営開始を支援し、公共エリアと民間事業エリアの相乗効果が得られる事業を推進する。
- ・ 子ども・子育て支援事業補助金の成果発表の場の活用や、ふるさと納税等活用により、子ども未来基金の更なる周知を図り、寄附が継続して寄せられる取組を推進する。

3 市の子育て支援策の充実

- ・ 医療費給付事業について、市民等から中学校卒業までの対象拡大、自己負担額の全額無料化及び現物給付方式を小学生まで拡大することについての要望があり、これらについて継続的に検討を行う。
- ・ 中学校卒業までの対象拡大、自己負担額の全額無料化については、継続的に多額な経費を要することから、平成 28 年度から実施している小学生の通院までの拡充による実績を見極めながら、検討を進める。
- ・ 医療費給付事業の現物給付方式については、未就学児及び妊産婦について県及び県内市町村が協議し、平成 28 年 8 月から実施している。適用の拡大については、引き続き、県内市町村と連携を図り、県に現物給付方式の導入を要請する。
- ・ 国民健康保険療養費等国庫負担金の減額措置撤廃については、これまでも国に対しては、全国市長会、中核市市長会、県市長会を通じて要望を行っており、引き続き要望を行っていく。

※H29年度の数値は、評価時点の数値。





事業名 事業概要等	活動 …… 結果 …… 目指す成果	戦略プロジェクト																																								
<p>⑬予防接種事業(幼児・児童インフルエンザ予防接種補助事業)(H28～29構成事業)</p> <p>【事業概要】 補助対象者に、接種料金のうち1千円を補助する。補助対象者を、未就学児に加え小学生まで拡大する。</p> <p>【H27事業費】 (16,720千円) 【H28事業費】 29,523千円 【H29事業費】 31,504千円 【事業担当課】 保健予防課 【実施内容】 対象者(0歳～小学生)が予防接種を受ける場合、医療機関に支払う接種料金から千円を減じた額を支払い、これを経費として医療機関が市に補助金を申請する方法により実施する。(実施期間は10月20日から翌年1月末日まで。1人2回まで。) 対象者 未就学児16,473人、小学生15,031人</p> <p>【進捗状況】 平成29年度事業の実施に際しては、事前に市内医療機関を対象とした説明会を9月に行う予定である。</p>	<p>インフルエンザ予防接種を実施した医療機関に対し、経費の一部を補助する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 千円)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>(16,720)</td><td>29,523</td><td colspan="2">未</td></tr> </table> <p>対象者が千円低い料金で医療機関が実施するインフルエンザ予防接種を受ける</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 人)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>(8,360)</td><td>14,762</td><td colspan="2">未</td></tr> </table> <p>対象者の保護者が負担する接種料金が軽減され、予防接種率が向上する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 %)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>(48.9)</td><td>46.0</td><td colspan="2">未</td></tr> </table>	(単位 千円)				H27	H28	H29		(16,720)	29,523	未		(単位 人)				H27	H28	H29		(8,360)	14,762	未		(単位 %)				H27	H28	H29		(48.9)	46.0	未		<p>【期待する効果】 みんなで子育てを支えるまちになる</p> <p>【対象】 小学生までの子を持つ親</p> <p>【意図】 子育てにやさしいと感じる人が増える。</p>				
(単位 千円)																																										
H27	H28	H29																																								
(16,720)	29,523	未																																								
(単位 人)																																										
H27	H28	H29																																								
(8,360)	14,762	未																																								
(単位 %)																																										
H27	H28	H29																																								
(48.9)	46.0	未																																								
<p>⑭乳児家庭全戸訪問等事業</p> <p>【事業概要】 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、子育て支援に関する情報提供及び養育環境等の把握を行い、必要な家庭に対し支援を行う。</p> <p>【H27事業費】 3,688千円 【H28事業費】 2,238千円 【H29事業費】 5,837千円 【事業担当課】 子育て世代包括支援センター 【実施内容】 ・在宅訪問員(委託)、非常勤訪問指導員、母子健康課、健康福祉課、子育て世代包括支援センター保健師、助産師が訪問する。産後うつ質問紙を活用して、産婦のメンタルヘルスを確認しながら母子の健康状態と養育環境を把握し、必要な子育て情報の提供と支援を行う。 ・H28年度実績値 2,101件 ・計画値:平成29年度2,400件</p> <p>【進捗状況】 ・訪問件数(H29年6月末現在) 557件 ・在宅訪問員6名、非常勤訪問指導員2名、母子健康課地区担当、健康福祉課、子育て世代包括支援センター保健師、助産師で実施。</p>	<p>常勤保健師、非常勤助産師、在宅訪問員による乳児家庭訪問を実施する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 件)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>1,717</td><td>2,101</td><td colspan="2">557</td></tr> </table> <p>乳児家庭が、育児に関する不安や悩みを相談する</p> <p>乳児家庭が、子育て支援に関する情報提供を受ける</p> <p>育児に問題を抱える家庭が減少する</p>	(単位 件)				H27	H28	H29		1,717	2,101	557		<p>【目標指標】</p> <p>A</p> <p>待機児童数*</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 人)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td colspan="2">-</td></tr> <tr><td>(H28.4.1)</td><td>(H29.4.1)</td><td colspan="2"></td></tr> </table> <p>B</p> <p>まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 %)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>22.0</td><td>24.0</td><td colspan="2">-</td></tr> </table>	(単位 人)				H27	H28	H29		0	0	-		(H28.4.1)	(H29.4.1)			(単位 %)				H27	H28	H29		22.0	24.0	-	
(単位 件)																																										
H27	H28	H29																																								
1,717	2,101	557																																								
(単位 人)																																										
H27	H28	H29																																								
0	0	-																																								
(H28.4.1)	(H29.4.1)																																									
(単位 %)																																										
H27	H28	H29																																								
22.0	24.0	-																																								
<p>⑮子育て世代包括支援センター事業</p> <p>【事業概要】 妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する悩み等の相談を受け、切れ目のない支援を行う。手厚い支援を要する者に対し、支援プランを策定しながら支援を行う。</p> <p>【H27事業費】 0千円 【H28事業費】 9,313千円 【H29事業費】 10,492千円 【事業担当課】 子育て世代包括支援センター 【実施内容】 ・母子健康手帳交付及び妊婦相談 ・ハイリスク妊婦家庭訪問、支援プランの作成 ・妊娠・出産・育児に関する窓口、電話での随時相談 ・子育て支援センター事業等での出張子育て相談</p> <p>【進捗状況】 <6月末の実績> ・母子健康手帳交付・妊婦相談 431件 ・妊産婦医療費受給者証申請受理 271件 ・来所相談 32件 ・電話相談 55件 ・妊産婦・乳児家庭訪問 182件</p>	<p>保健師、助産師、社会福祉士が妊産婦家庭訪問を実施する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 件)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td>95</td><td colspan="2">182</td></tr> </table> <p>妊産婦家庭が、育児に関する不安や悩みを相談する</p>	(単位 件)				H27	H28	H29			95	182		<p>C</p> <p>まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると答えた市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 %)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td>13.3</td><td>15.2</td><td colspan="2">-</td></tr> </table>	(単位 %)				H27	H28	H29		13.3	15.2	-																	
(単位 件)																																										
H27	H28	H29																																								
	95	182																																								
(単位 %)																																										
H27	H28	H29																																								
13.3	15.2	-																																								
<p>⑯少子化対策(子育て支援)事業 (H28のみ構成事業)</p> <p>【事業概要】 公民の連携により、「子ども」をキーワードに市民、市民団体及び企業等が連携、交流できる場を開設するもの。</p> <p>【H28事業費】 28,982円(H27繰越分) 【事業担当課】 子ども未来課 【実施内容】 中心市街地に室内遊び場やリフレッシュルーム、一時預り事業の託児室などを備えた(仮称)子育て応援プラザを開設する。併設する民間事業エリアには、民間企業等からの企画提案により、相乗効果が得られるような事業を実施する。</p> <p>【進捗状況】 7月中旬から公共エリアの運営団体及び民間事業エリアの出店事業者の公募を開始。事業者は決まったものの、改修の遅れから開設は平成29年度の予定</p>	<p>(仮称)子育て応援プラザを開設する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 施設)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td>0</td><td colspan="2"></td></tr> </table> <p>子育て中の市民が、(仮称)子育て応援プラザを利用する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 人)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td>0</td><td colspan="2"></td></tr> </table> <p>市民団体・企業等が(仮称)子育て応援プラザを利用して、子ども・子育て支援の活動を行う</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 件)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td>0</td><td colspan="2"></td></tr> </table>	(単位 施設)				H27	H28	H29			0			(単位 人)				H27	H28	H29			0			(単位 件)				H27	H28	H29			0			<p>*毎年4月1日現在の数値を用いている。</p>				
(単位 施設)																																										
H27	H28	H29																																								
	0																																									
(単位 人)																																										
H27	H28	H29																																								
	0																																									
(単位 件)																																										
H27	H28	H29																																								
	0																																									
<p>⑰子育て応援プラザ運営事業 (H29のみ構成事業)</p> <p>【事業概要】 「子ども」をキーワードに市民、地域活動団体、市民活動団体及び企業等が連携、交流できる場として、子育て応援プラザを公民の連携により運営する。</p> <p>【H29事業費】 25,487千円 【事業担当課】 子ども青少年課 【実施内容】 室内遊び場、リラックスルーム、セミナールームなどを備えた公共エリアと、託児機能付きのオフィスの民間事業エリアを、公民の連携により運営する。</p> <p>【進捗状況】 公共エリアについては、平成29年4月22日に開所。民間事業エリアについては、現在営業開始に向けて準備中である。</p>	<p>子育て応援プラザを運営する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 施設)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr> </table> <p>子育て中の市民が子育て応援プラザを利用する</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 人)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td></td><td colspan="2">2,085</td></tr> </table> <p>市民団体・企業等が子育て応援プラザを利用して、子ども・子育て支援の活動を行う</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位 件)</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th><th colspan="2">H29</th></tr> <tr><td></td><td></td><td colspan="2">1</td></tr> </table>	(単位 施設)				H27	H28	H29				1		(単位 人)				H27	H28	H29				2,085		(単位 件)				H27	H28	H29				1						
(単位 施設)																																										
H27	H28	H29																																								
		1																																								
(単位 人)																																										
H27	H28	H29																																								
		2,085																																								
(単位 件)																																										
H27	H28	H29																																								
		1																																								

事業名 事業概要等	活動 …… 結果 …… 目指す成果	戦略プロジェクト
<p>⑱子ども未来基金事業</p> <p>【事業概要】 市の積立金及び市民等からの寄附金を財源として、子育て支援団体や企業が行う子ども・子育て支援に資する活動、子育てサークル等への活動に要する費用の助成を行う。</p> <p>【H27事業費】 0千円 【H28事業費】 102,952千円 【H29事業費】 11,129千円</p> <p>【事業担当課】 子ども青少年課</p> <p>【実施内容】 ・個人及び企業に対し、寄附の呼びかけを行う。 ・企画提案方式により、市民・団体等が行う子ども・子育て支援の活動の費用を助成する。</p> <p>【進捗状況】 ・平成28年度に、6件(約295万円)の寄附を受領した。 ・平成29年度の助成事業の公募・審査を行い、12団体の取組を採択。現在各個人・団体において事業を実施中である。</p>	<p>個人及び法人に対して、寄附の呼びかけを行う</p> <p>個人及び法人が、子ども未来基金に対して寄附を行う (単位 千円) H27 H28 H29 2,950 10</p> <p>企画提案方式により、市民・団体等が行う子ども・子育て支援の活動の費用を助成する (単位 千円) H27 H28 H29 5,904 6,825</p> <p>助成を受けた市民・団体が、子ども・子育て支援の活動を行う (単位 件) H27 H28 H29 6 12</p> <p>民間による子ども・子育て支援の活動が活発になる</p> <p>社会全体で子ども・子育てを支援する機運が高まる</p>	<p>【期待する効果】 みんなで子育てを支えるまちになる</p> <p>【対象】 小学生までの子を持つ親</p> <p>【意図】 子育てにやさしいと感じる人が増える。</p>
<p>⑲ワーク・ライフ・バランス推進事業</p> <p>【事業概要】 子育て・介護・地域福祉における課題(時間の確保)の解決に資するため、民間企業等における自発的なワーク・ライフ・バランスの推進を促すことで、男女ともに働きやすい環境の整備を促進する。</p> <p>【H27事業費】 (7,565千円) 【H28事業費】 9,430千円(H27繰越分) 【H29事業費】 9,501千円</p> <p>【事業担当課】 地域福祉課</p> <p>【実施内容】 ワーク・ライフ・バランスを推進する人材養成講座や経営者向けのトップセミナーを開催するほか、受講生などのネットワークづくりを支援するとともに、いって働き方アワードと連携した表彰制度を実施する。</p> <p>【進捗状況】 29年度は、全3回の人材養成講座を2回、企業経営者を対象としたトップセミナーを3回、表彰制度の実施を計画している。</p>	<p>ワーク・ライフ・バランスを推進するための知識やスキルを身に付けるための養成講座等を開催する (単位 回) H27 H28 H29 (2) 2 未</p> <p>民間企業等が、ワーク・ライフ・バランスを推進するための知識やスキルを身に付けるための養成講座や単発のセミナー等に参加する (単位 人) H27 H28 H29 (266) 220 未</p> <p>民間企業等において、ワーク・ライフ・バランスを推進するための知識やスキルを身に付けた人材が増加する (単位 人) H27 H28 H29 (43) 83 未</p> <p>ワーク・ライフ・バランスを推進する市内の民間企業等が増加する (単位 社) H27 H28 H29 (35) 78 未</p> <p>子育て世帯等にとって働きやすい環境が整備される</p>	<p>【目標指標】</p> <p>A</p> <p>待機児童数* (単位 人) H27 H28 H29 0 0 - (H28.4.1) (H29.4.1)</p>
<p>⑳雇用対策推進事業(H27のみ構成事業)</p> <p>【事業概要】 若年者に対する職業意識の啓発や職業情報の提供、関係団体への雇用要請等を通じて就労の場の拡大に向けた取組を進める。</p> <p>【H27事業費】 1,754千円 【事業担当課】 企業立地雇用課</p> <p>【実施内容】 ・新規学卒者及び卒業後3年以内の既卒者を対象とした「もりおか就職面接会」等の開催 ・岩手県U・Iターンフェアへの出展 ・盛岡地域雇用開発協会への負担金支出 ・経済団体等に対する雇用に関する要請活動の実施</p> <p>【進捗状況】 ・もりおか就職面接会:H27.8.11開催、もりおか就職面談会:H27.10.15開催 ・岩手県U・Iターンフェア:H27.8.23・H28.3.27開催 ・盛岡地域雇用開発協会への負担金支出済、企業ガイドブック「もりおか」は3,500部作成・配布済 ・経済団体等に対する雇用に関する要請活動:H27.6.9～6.11に岩手県経営者協会他6団体に対して実施済</p>	<p>「盛岡地域雇用開発協会」に負担金を支出する (単位 千円) H27 H28 H29 1,115</p> <p>盛岡地域雇用開発協会、盛岡市、盛岡公共職業安定所などで主催する「もりおか就職面接会」が開催される (単位 回) H27 H28 H29 2</p> <p>盛岡地域雇用開発協会が、「企業ガイドブック・もりおか」を作成し、配付する (単位 部) H27 H28 H29 3,500</p> <p>市内の企業に就職したいと考える学生が増加する</p> <p>若年者の生活が、経済面で安定する</p>	<p>B</p> <p>まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合 (単位 %) H27 H28 H29 22.0 24.0 -</p> <p>C</p> <p>まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合 (単位 %) H27 H28 H29 13.3 15.2 -</p> <p>*毎年4月1日現在の数値を用いている。</p>

戦略プロジェクト評価シート (H29 事中評価)

戦略プロジェクト名	きらり盛岡おでんせプロジェクト		
主管部等名	商工観光部	部コード	13
戦略プロジェクト統括マネージャー	商工観光部長 沼田 秀彦	内線番号	3700

Step 1 戦略プロジェクトの全体像

1 戦略プロジェクトの概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

戦略プロジェクトへの設定理由	人口減少・少子高齢化社会の進行，地方分権の推進，グローバル化の進展を背景に都市間競争が激化する中，まちの活力を維持していくためには，定住人口の保持や交流人口の増加を推進していくことが本市の重要課題となっている。
戦略プロジェクトの取組内容	歴史，自然，文化，先人，まち並みをはじめとする，本市の恵まれた観光資源を生かし，盛岡の魅力に触れ，満足してもらうため，新たな観光資源の開発や観光資源の掘り起こし，ブラッシュアップを推進する。 また，盛岡ブランドなど当市のきらり光る魅力を多様な手段で発信するとともに，「スポーツ」や「食」などを切り口に，更なる交流人口の拡大と盛岡ファンづくりを推進する。
重点取組期間	平成27年度 ～ 平成29年度
期待する効果	魅力ある観光資源と盛岡ファンづくりを通じて，多くの人が訪れるまちになる
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市民，国内外のひと まち（盛岡市）
意図 (対象をどのようにしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡のきらり輝く価値や魅力に共感し，もっと盛岡を好きになってもらう。 交流人口を増やすなどにより，まちに活力を生み出す。
目標指標	<p>観光客入込数 490万人回（平成29年度末）</p> <p>まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合 79.4%（平成29年度末）</p> <p>地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 53位（平成29年度末）</p>

Step 2 目標指標の推移

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 (評価 時点)	29年度 目標
A 観光客入込数 (↑)	万人回	472	497	509	500	—	490
B まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合 (↑)	%	78.0	80.4	77.7	78.5	—	79.4
C 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」 (↑)	位	74	58	63	117	—	53

Step 3 戦略プロジェクトの進捗状況

きらり盛岡おでんせプロジェクトは交流人口の増加と盛岡ファンづくりを目的としており、当該プロジェクトに位置付けている事業にそれぞれ取り組んでいるところである。平成29年度は、祭り・イベント振興事業を拡充し、盛岡さんさ踊り40回記念事業を実施するほか、新たに東北復興イベント開催事業、玉山地域賑わい創出事業（総合交流ターミナル機能の拡充）を実施することとしている。

また、盛岡ブランドの推進においては、市民・事業者との意識共有と情報発信の強化を戦略として取り組むこととしている。平成29年度は、盛岡ブランド市民推進委員会を開催し、盛岡ブランド推進市民企画助成事業を3件採択したほか、盛岡ブランド推進戦略本部会議を開催し、今年度の取組方針を協議した。また、盛岡ブランド広告宣伝業務委託を実施し、首都圏在住の若者世代を中心とした「対象者」に、盛岡の価値や魅力が伝わるようなプロモーションを実施するに当たり使用する素材を作成するとともに、これらの素材を活用したプロモーション活動を展開する予定としている。

Step 4 市民ニーズの把握

- (1) 盛岡市観光推進計画策定（平成27年3月）に伴うアンケート調査では、「盛岡を旅行先に選んだ理由」や「旅行しての印象」の問いに対して、「食」に関するものが最も多く、次いで、「歴史や文化」、「自然」の回答が多く、地域資源の活用、ブラッシュアップが重要であることがうかがえる。
- (2) 平成28年度盛岡市まちづくり評価アンケートの結果によると、盛岡が好きであると答える人の割合が78.5%となっている。25年度実績と比べると僅かながら増加しており、多くの市民の方が盛岡というまちに愛着を抱いていると考えられる。

盛岡ブランドの推進に関し意見等をいただくとともに、市民有志による取組を促進するために設置している盛岡ブランド市民推進委員会においては、盛岡ブランドはブランドイメージを伝えるのが難しいという意見があるほか、市民にとって日常にある盛岡が好きという視点と、盛岡ブランドの視点が必ずしも関連していないなどの意見がある。

- (3) 平成25年度に実施した盛岡麺くいラリーでの盛岡三大麺に関するアンケート調査によると、盛岡三大麺普及のための提案として、イベント回数を増やすことや個々のお店の対応の工夫、積極的な宣伝活動を求める声が多く寄せられた。

Step 5 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- (1) 観光資源のブラッシュアップを図るとともに、周遊ルートの設定や情報発信の強化など、盛岡広域や北東北、東北など、エリアとして連携した取組を推進する。
- (2) 各種調査や地域経済分析システム（RESAS）などによる分析を行い、情報発信の手法や機会の設定を再検討する。
- (3) 台湾やタイ等への積極的な海外プロモーションや多言語による情報発信など外国人観光客の誘致活動の強化を図る。
- (4) 外国人対応が可能な観光案内人の配置や外国語表記によるインフォメーション、観光施設等へのWi-Fi導入など、ソフト、ハードの両面で受入環境の充実を図る。
- (5) MICE誘致制度の周知を推進する。
- (6) 盛岡ブランドのイメージを分かりやすく伝える機会を増やす。
- (7) 市民や事業者が盛岡ブランドに持続的に関わることができる仕掛け作りを進めるとともに、市外において盛岡ブランドを主に訴求する相手方（ターゲット）の設定を行う。
- (8) 新たな情報発信の手法の試行や検証を通じて、市外において盛岡と関わりがある人と連携するための効果的な情報発信の手法を確立する。
- (9) 「盛岡三大麺（＝麺のまち）」としての認知度を高めるために、盛岡三大麺普及協議会による組織的な宣伝を強化する。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
広域で連携した取組の強化	盛岡広域, 東北, 東日本連携による広域周遊ルートの設定	A
情報発信の強化	市内在住留学生とのネットワークの構築	B
外国人観光客誘致活動の強化	海外プロモーションの実施(台湾, タイ) ホームページの多言語化	A
外国人受入環境の充実	外国人観光客対応ツール整備(指差し会話シート等)	B
MICE誘致制度の周知	県外MICE誘致イベントへの参加 大学関係者等への周知	A
盛岡ブランドのイメージを伝える機会の増加	各種媒体への情報発信の機会を増やす	A
盛岡ブランドのメインターゲットの設定	地域おこし協力隊の助言や地域ブランド調査の結果により, 主なターゲットを検討	B
市外において盛岡と関わりがある人と連携するための効果的な情報発信手法の確立	首都圏で活動する盛岡(岩手)への移住支援団体や, 盛岡ファンのコミュニティと連携するなどしながら効果的な情報発信の手法を検討	B
盛岡三大麺普及協議会による組織的な宣伝の強化	盛岡三大麺マップ等による情報発信, 各種催事への出店等の取組の強化	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合, その原因

Step6 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトの中で特に成果をあげた点

- ・ 制度開始から3年目となるMICE開催助成制度については18件の申請があった。
- ・ 盛岡ブランドを幅広い年齢層に普及啓発することが出来た。
- ・ 希望郷いわて国体・いわて大会で全国各地から来盛した方に盛岡の魅力を発信できた。
- ・ 盛岡三大麺普及協議会が中心となって, 「ニッポンめんサミットin盛岡2016」が開催された。開催期間中は多くの来場があり, 盛岡三大麺も含めた麺文化の情報発信をすることができた。

(2) 成果をあげた要因

- ・ MICE開催助成制度については, 想定される団体の情報収集に努めた。
- ・ テレビCMや希望郷いわて国体の会場, YouTube動画広告など, ターゲットの異なるメディアを利用したことで, 幅広い年齢層への普及啓発につながった。

- ・ 各競技団体主催の「歓迎レセプション行事」に協力する形で食材提供などを行い、「食」を核としてスポーツ・ツーリズムの展開や観光などと併せた魅力発信を行うことが出来たほか、盛岡駅前や競技会場等において、プロモーション動画の放映を行った。
- ・ 盛岡三大麺普及協議会が中心となりイベントの企画・運営を行ったことで、業界と一体となった三大麺普及を行うことができた。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

- ・ MICE開催助成制度の効果的な周知を図る必要がある。
- ・ 盛岡ブランドに関する市民・事業者との意識共有に向け、市民・事業者の盛岡ブランドに対する興味や関心を引き続き喚起していくことが求められる。
- ・ フェイスブックとともに運営しているホームページのコンテンツを充実させるなどし、SNSとの相乗効果でさらに閲覧者数を増やすことが求められる。
- ・ イベント開催等を通じて、業界団体が中心となって業界を盛り上げる機運が高まっており、業界と市の連携の仕方について引き続き調整をしていく必要がある。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトにおける現状の問題点（特に改善を急ぐべき点）

ア 観光地としての認知度が低い。

イ 外国人観光客に選ばれるまち・エリアになっていない。

ウ コンベンションシティ*として認知されていない。

* コンベンションシティ

国際会議観光都市のこと。国際会議場施設、宿泊施設などのハード面やコンベンション・ビューローなどのソフト面での体制が整備されており、国土交通大臣が認定した都市。

エ 盛岡ブランドのブランドイメージに関する市民・事業者の意識共有までには至っていない。

オ 市外在住者への広告宣伝の媒体や手法が限られており、効果的に訴求する広告宣伝が実施できていない。

カ 盛岡からの転出者や盛岡デーへの来訪者など、市外在住者のうち東京盛岡ふるさと会以外で盛岡と関わりがある人との連携が進んでいない。

キ 盛岡三大麺普及協議会内の事務局体制や事業実施体制を強化する必要がある。

(2) 現状の問題点が生じている原因

ア 観光地としての認知度が低い

- ・ 市内の観光スポットが広範に点在し、外から見た盛岡市の魅力が分かりづらい。
- ・ 観光資源のブラッシュアップなど魅力づくりが十分でない。
- ・ 様々な媒体や手法を活用した適時適所の情報発信力が弱い。

イ 外国人観光客に選ばれるまち・エリアになっていない

- ・ 東北エリア全体の認知度が低い上、海外プロモーションや多言語による情報発信が不足している。
- ・ 外国人に対する観光案内機能が十分ではなく、外国語による観光案内表示も少ない。

ウ コンベンションシティとして認知されていない

MICE開催助成制度が東北の県庁所在地で最も遅く（平成27年4月）、コンベンションシティとしての周知が不足している。

エ 盛岡ブランド推進計画は、盛岡が持つ多くの価値や魅力を集約した形となっていることから、市民や事業者が盛岡ブランドのイメージをつかみづらくなっている。

オ 広告宣伝や周知イベント等の実施時期が限られているなど、市民や事業者が盛岡ブランドに持続的に関わりを持つことが難しい状況である。

カ 市外において盛岡と関わりがある人と連携するための情報発信手法を確立できていない。

キ 盛岡三大麺普及協議会内において、業務分担に偏りがあり業界全体での事務局運営となっていない。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

ア 観光地としての認知度が低い

- ・ 観光資源のブラッシュアップを図るとともに、周遊ルートの設定や情報発信の強化など、盛岡広域や北東北、東北など、エリアとして連携した取組を推進する。
- ・ 各種調査や地域経済分析システム（RESAS）などによる分析を行い、情報発信の手法や機会の設定を再検討する。

イ 外国人観光客に選ばれるまち・エリアになっていない

- ・ 台湾やタイ等への積極的な海外プロモーションや多言語による情報発信など外国人観光客の誘致活動の強化を図る。
- ・ 外国語による観光案内表示など、外国人観光客の受入環境の充実を図る。

ウ コンベンションシティとして認知されていない

MICE助成制度の周知を図り、コンベンション誘致を推進する。

エ 盛岡ブランドのイメージを分かりやすく伝える機会を増やす。

オ 市民や事業者が盛岡ブランドに持続的に関わるができる仕掛け作りを進める。

カ 新たな情報発信の手法の試行や検証を通じて、市外において盛岡と関わりがある人と連携するための効果的な情報発信の手法を確立する。

キ 盛岡三大麺普及協議会の運営が、業界全体での事務局運営となるように引き続き調整していく必要がある。

Step 7 Step 5, 6を踏まえた改革改善案

ア-1 観光資源のブラッシュアップを図るとともに、周遊ルートの設定や情報発信の強化など、盛岡広域や北東北、東北など、エリアとして連携した取組を推進する

- ・ 観光資源のブラッシュアップを図るとともに、盛岡市内に点在する観光スポットを有機的につなげる。
- ・ 広域12市町の枠組みによる盛岡・八幡平広域観光推進協議会の活動を通じ、圏域の歴史や自然、文化、グルメなどテーマ別の広域観光ルートの提案等周遊型・滞在型観光を促進していくこととしている。

ア-2 各種調査や地域経済分析システム（RESAS）などによる分析を行い、情報発信の手法や機会の設定を再検討する

- ・ 観光情報・地域情報の発信については、SNSを活用した盛岡のホットな情報、観光客向けの地域行事や周遊コースを発信する。

イ-1 台湾やタイ等への積極的な海外プロモーションや多言語による情報発信など外国人観光客の誘致活動の強化を図る

- ・ 盛岡広域や東北六都市誘客ネットワーク等で連携し、様々な機会を捉え、積極的に台湾やタイ等への海外プロモーションを展開し、誘客促進を進める。
- ・ 今後、ホームページの多言語化などによる情報発信の強化を進める。

イ-2 外国語による観光案内表示など、外国人観光客の受入環境の充実を図る

- ・ 外国語表記によるインフォメーションについても順次対応していく。
- ・ 東北の観光案内所が連携し、観光情報の共有化を図るとともに、外国人観光客に対し適切な案内と誘客に向けた効果的な情報発信を行う。

ウ MICE誘致制度の周知を推進する

- ・ (公財)盛岡観光コンベンション協会が27年4月にMICE開催助成制度を創設し、助成制度に基づくMICE誘致活動を開始。制度周知のため、ホームページとチラシによる情報発信を行っている。
- ・ もりおかMICE誘致推進機構と協働で産学官への周知を図ることとしている。
- ・ MICE推進機関が一堂に会して開催される国際ミーティング・エキスポにブース出展し、全国に周知を図る。

エ 「盛岡ブランド確立事業」において、盛岡ブランドのブランドイメージと盛岡ブランドを構成する具体の事業との結びつきをイメージできる情報発信を行うなど、ブランドイメージを分かりやすく伝える情報発信に努めるとともに、各種媒体への情報発信の機会を増やすなど、盛岡ブランドに関する情報に市民や事業者の方が触れる頻度を増やす。

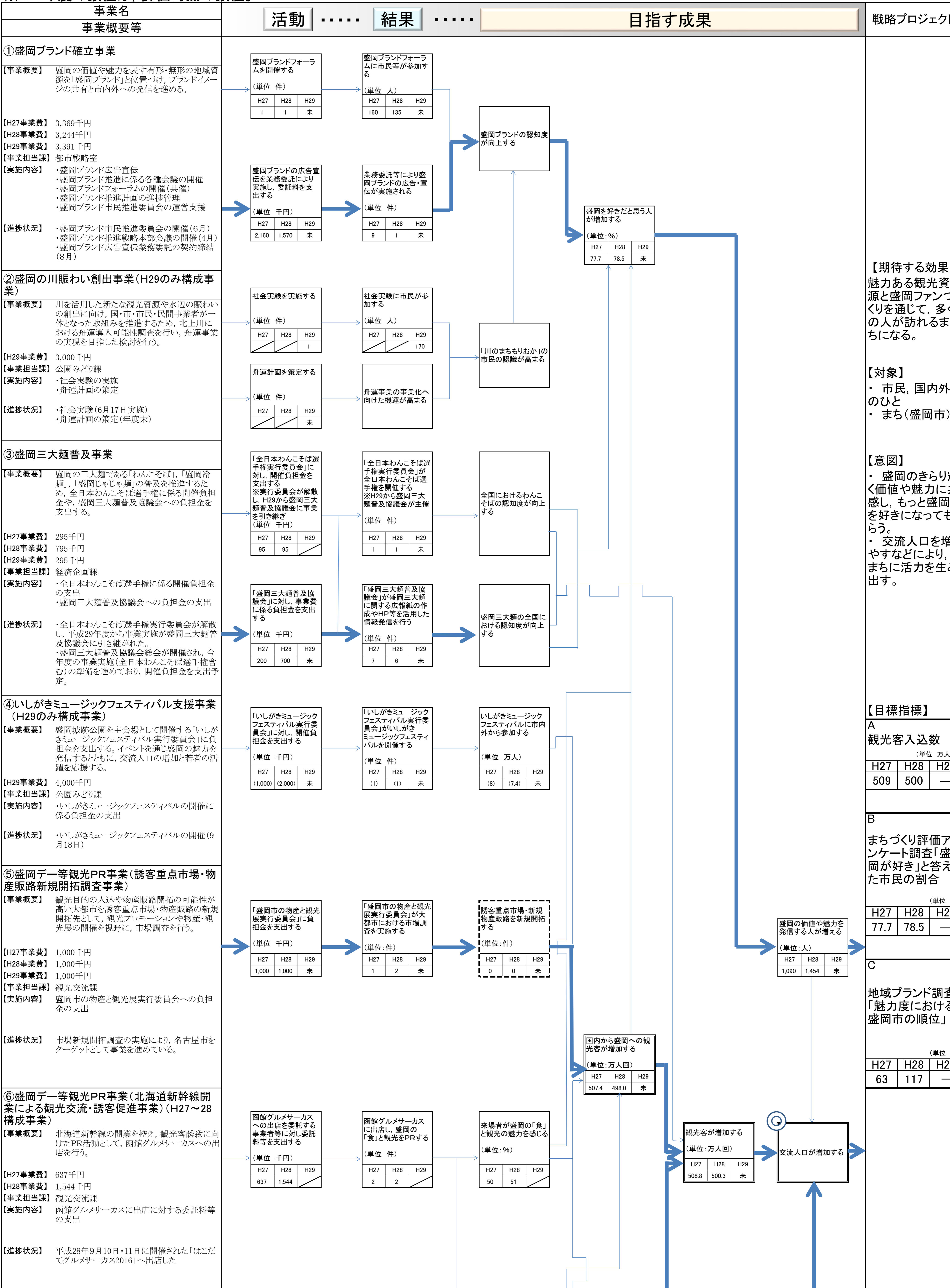
オ・カ 「盛岡ブランド情報発信強化事業」及び新たに実施を予定しているシティプロモーションについての検討の中で、盛岡の価値や魅力を特に訴求する相手方(ターゲット)を設定し広告宣伝の対象を明確にするとともに、様々な情報発信の手法の試行、検証等を通じて、盛岡と関わりがある人と連携するための情報発信の手法を確立する。

キ 平成29年度から、盛岡三大麺普及協議会がわんこそば選手権の運営業務を実行委員会から引き継いでおり、市では協議会が中心となりイベントが運営されるよう協力することにより、業界内の連携がさらに強化されることが期待される。

ロジックモデルシート(H29事中評価)

戦略プロジェクト名	きらり盛岡おでんせプロジェクト	主管部名	商工観光部
-----------	-----------------	------	-------

※H29年度の数值は、評価時点の数值。



⑦盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業 (H29のみ構成事業)

【事業概要】 盛岡広域スポーツコミッションの運営業務やカナダを相手国とするホストタウンとして2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致活動を始めとする交流事業に取り組む。

【H29事業費】 10,443千円
【事業担当課】 スポーツツーリズム推進室
【実施内容】 ・盛岡広域スポーツコミッション運営業務 (スポーツによる交流人口拡大、地域スポーツの推進、メガスポーツイベントへの取組)
 ・ホストタウン交流事業 (事前合宿誘致、姉妹都市交流)

【進捗状況】 ・幹事会を開催し、広域における大会、合宿の実績及び予定について確認し引き続き誘致活動に努めることとした。
 ・カナダのラグビー、水球、スポーツクライミングの視察及び事前合宿を受け入れ、覚書締結に向けて調整している。

⑧盛岡デー等観光PR事業(盛岡市の物産と観光展開催事業)

【事業概要】 盛岡の物産と観光資源をPRするため、平成21年度より札幌市で開催し好評を得ている物産展に対する負担金の支出を行う。

【H27事業費】 0千円
【H28事業費】 1,500千円
【H29事業費】 3,000千円
【事業担当課】 観光交流課
【実施内容】 盛岡市の物産と観光展実行委員会に対する負担金の支出

【進捗状況】 札幌市と埼玉県熊谷市での物産展の開催を予定している。

⑨盛岡デー等観光PR事業(盛岡デー開催事業)

【事業概要】 観光PRと魅力発信の場として、東京と沖縄県うるま市で継続開催を予定している盛岡デー開催に係る負担金を支出する。

【H27事業費】 0千円
【H28事業費】 2,600千円
【H29事業費】 4,690千円
【事業担当課】 観光交流課
【実施内容】 盛岡デー実行委員会に対する負担金の支出

【進捗状況】 観光PRと魅力発信の場として、盛岡デーイン東京を7月上旬開催した。

⑩盛岡デー等観光PR事業(東北復興イベント開催事業)(H29のみ構成事業)

【事業概要】 県内外の祭り関係者を招聘して広域連携により開催する「岩手もりおか復興フェスタ」開催に係る負担金を支出する。また、盛岡の魅力を発信する花車を製作する。

【H29事業費】 15,000千円
【事業担当課】 観光交流課
【実施内容】 ・岩手もりおか復興フェスタ実行委員会に対する負担金の支出
 ・花車の製作

【進捗状況】 花車の製作を進めるとともに、岩手もりおか復興フェスタ実行委員会を設立し、10月上旬の開催に向け準備を進めている。

⑪祭り・イベント振興事業(盛岡さんさ踊り40回記念事業)(H29のみ構成事業)

【事業概要】 盛岡さんさ踊り高校選手権の実施や40年記念誌の制作、おへれんせ集团的の拡充など、盛岡さんさ踊り40回記念事業に係る負担金を支出する。

【H29事業費】 3,000千円
【事業担当課】 観光交流課
【実施内容】 盛岡さんさ踊り実行委員会に対する負担金の支出

【進捗状況】 盛岡さんさ踊り実行委員会において、盛岡さんさ踊り40回記念事業の実施に向け準備を進めている。

⑫盛岡デー等観光PR事業(東北六都市連携による誘客・地域産品プロモーション事業)

【事業概要】 東北の観光振興に向けた、県庁所在地6市と祭り団体、商工団体で構成する誘客ネットワークでの共同事業を推進するため、負担金を支出する。

【H27事業費】 450千円
【H28事業費】 450千円
【H29事業費】 450千円
【事業担当課】 観光交流課
【実施内容】 東北六都市誘客ネットワークに対する負担金の支出

【進捗状況】 県庁所在地6市と祭り団体、商工団体で構成する誘客ネットワークにおいて事業実施の準備を進めている。

誘致対象競技団体に大会や合宿誘致活動を実施する
(単位 件)

H27	H28	H29
		1

競技団体が盛岡広域8市町を大会・合宿開催地として選定する
(単位 件)

H27	H28	H29
		30

盛岡広域8市町で大会・合宿が開催される
(単位 人)

H27	H28	H29
		6,009

カナダ競技団体にに対し、事前キャンプの誘致を行う
(単位 件)

H27	H28	H29
		3

カナダ競技団体が視察のために盛岡を訪問し、施設や競技環境が評価される
(単位 件)

H27	H28	H29
		3

カナダ競技団体と盛岡で事前キャンプを実施する覚書を締結する
(単位 件)

H27	H28	H29
		未

盛岡市の物産と観光展実行委員会に負担金を支出する
(単位 千円)

H27	H28	H29
	1,500	未

盛岡市の物産と観光展実行委員会が札幌市と埼玉県熊谷市で物産展を開催する
(単位 件)

H27	H28	H29
	2	未

盛岡デー実行委員会に負担金を支出する
(単位 千円)

H27	H28	H29
	2,600	4,690

盛岡デー実行委員会が東京とうるま市で盛岡デーを開催する
(単位 件)

H27	H28	H29
	2	1

岩手もりおか復興フェスタ実行委員会に負担金を支出する
(単位 千円)

H27	H28	H29
		未

岩手もりおか復興フェスタ実行委員会が岩手もりおか復興フェスタを開催する
(単位 件)

H27	H28	H29
		未

岩手もりおか復興フェスタに多数の来客があり、東北・いわての祭りの魅力を感じる
(単位 万人)

H27	H28	H29
		未

花車を制作する
(単位 千円)

H27	H28	H29
		未

華やかな花車により祭りの魅力が増す
(単位 台)

H27	H28	H29
		未

盛岡さんさ踊り実行委員会に負担金を支出する
(単位 千円)

H27	H28	H29
		未

盛岡さんさ踊り実行委員会が盛岡さんさ踊り40回記念事業を実施する
(単位 件)

H27	H28	H29
		未

盛岡さんさ踊りに多数の来客があり、観光客が盛岡さんさ踊りの魅力を感じる
(単位 件)

H27	H28	H29
		未

東北六都市誘客ネットワークに負担金を支出する
(単位 千円)

H27	H28	H29
450	450	未

東北六都市誘客ネットワークが海外での物産展と6市祭り等PR活動を実施する
(単位 件)

H27	H28	H29
1	1	未

盛岡の観光資源が海外での評価を得る

海外から盛岡への観光客が増加する
(単位 万人回)

H27	H28	H29
1.4	2.4	未

【期待する効果】
 魅力ある観光資源と盛岡ファンづくりを通じて、多くの人が訪れるまちになる。

【対象】
 ・ 市民、国内外のひと
 ・ まち(盛岡市)

【意図】
 ・ 盛岡のきらり輝く価値や魅力に共感し、もっと盛岡を好きになってもらう。
 ・ 交流人口を増やすなどにより、まちに活力を生み出す。

【目標指標】
A
 観光客入込数
 (単位 万人回)

H27	H28	H29
509	500	—

B
 まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合
 (単位 %)

H27	H28	H29
77.7	78.5	—

C
 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」
 (単位 位)

H27	H28	H29
63	117	—

⑬外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業

【事業概要】 盛岡広域の地場産業の振興拠点であるとともに、年間40万を超える来場がある盛岡手づくり村を活用し、外国人観光客等の受入環境整備と外国人観光客への情報発信の強化を行い、インバウンド誘致の促進を図る。

【H27事業費】 0千円
【H28事業費】 9,314千円
【H29事業費】 5,955千円

【事業担当課】 観光交流課・ものづくり推進課
【実施内容】 外国人観光客のニーズ調査をもとに海外でのプロモーション活動と外国人受入環境の整備を行う。

【進捗状況】 タイからの旅行者を誘客するため、タイ国際旅行展でのトップセールス実施に向け、アンケート調査を実施した。

海外プロモーションを委託する業者に委託料等を支出する

(単位 千円)

H27	H28	H29
	4,661	未

海外でプロモーション活動が実施される

(単位 件)

H27	H28	H29
	1	1

外国人観光客受入のための施設整備を実施する施設または業者に補助金または委託料等を支出する

(単位 千円)

H27	H28	H29
	4,653	未

外国人観光客受入のための環境整備が実施される

(単位 件)

H27	H28	H29
	3	未

⑭MICE誘致推進事業

【事業概要】 市内を主会場とする一定規模以上の国際会議や全国規模のコンベンションなどに対して、開催費用の一部を助成する。東北最大の制度の創設し、市内の産業活動活性化を図る。

【H27事業費】 11,750千円
【H28事業費】 16,946千円
【H29事業費】 29,800千円

【事業担当課】 観光交流課
【実施内容】 MICEに係る補助金の支出

【進捗状況】 平成29年度補助金24,000千円(当初)のうち一部(14,000千円)を前金払で支出済である。申請(29,800千円)に対し不足となる5,800千円は9月補正要求済み

(公財)盛岡観光コンベンション協会に補助金を支出する

(単位 千円)

H27	H28	H29
11,750	16,946	14,000

MICE開催者に対して費用の一部が助成される

(単位 千円)

H27	H28	H29
11,750	16,946	未

MICEの開催件数が増加する

(単位 件)

H27	H28	H29
14	18	未

盛岡を訪れるMICE参加者が増加する

(単位 万人)

H27	H28	H29
1.6	1.6	未

⑮玉山地域賑わい創出事業(総合交流ターミナル機能の拡充)(H29のみ構成事業)

【事業概要】 ユートランド姫神の再整備により、都市部等の若者をターゲットに「非日常空間を提供する施設」として、交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点としての機能を拡充する。

【H29事業費】 105,680千円(H28繰越分)
【事業担当課】 産業振興課
【実施内容】 交流ホール、宿泊棟、クアハウス等の改修や屋外交渉サイトの新築など機能拡充の施設整備を行う。施設等の効果促進のため、ユートランド姫神を拠点とした交流・体験促進事業や消費・販路拡大事業などのソフト事業を実施する。

【進捗状況】 ・消耗品予算額480千円未執行
 ・設計業務委託料予算額7,553千円執行済額5,680,800円
 ・ソフト事業委託料予算額4,725千円未執行
 ・工事請負費予算額88,784千円未執行
 ・備品購入費予算額4,138千円未執行

ユートランド姫神の施設を再整備し機能を拡充する

(単位 千円)

H27	H28	H29
		未

ユートランド姫神で交流・体験促進事業などを実施する

(単位 件)

H27	H28	H29
		未

ユートランド姫神などの地域拠点施設への集客力が向上する

ユートランド姫神の産直の利用客数が増加する

(単位 人)

H27	H28	H29
		未

ユートランド姫神の郷土食・農家カフェの利用客数が増加する

(単位 人)

H27	H28	H29
		未

ユートランド姫神の宿泊客数が増加する

(単位 人)

H27	H28	H29
		未

ユートランド姫神の日帰り温泉客が増加する

(単位 人)

H27	H28	H29
		未

東屋設置によりユートランド姫神のバーベキュー等の利用客が増加する

(単位 人)

H27	H28	H29
		未

ソフト事業の実施によりユートランド姫神の利用者が増加する

(単位 人)

H27	H28	H29
		未

⑯地域おこし協力隊活用事業(H29のみ構成事業)

【事業概要】 産業振興課に地域おこし協力隊2名を配置し、地域おこしに係る各種事業を展開する。

【H29事業費】 7,377千円
【事業担当課】 産業振興課
【実施内容】 ユートランド姫神など地域拠点施設への誘客促進や交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点として同施設を軸とした、玉山地域のニューツーリズムの企画運営を行う。

【進捗状況】 7月に1名、8月に1名、計2名の地域おこし協力隊員着任済

地域おこし協力隊が各種企画を実施する

(単位 件)

H27	H28	H29
		未

【期待する効果】
 魅力ある観光資源と盛岡ファンづくりを通じて、多くの人が訪れるまちになる。

【対象】
 ・ 市民、国内外のひと
 ・ まち(盛岡市)

【意図】
 ・ 盛岡のきらり輝く価値や魅力に共感し、もっと盛岡を好きになってもらう。
 ・ 交流人口を増やすなどにより、まちに活力を生み出す。

【目標指標】

A
 観光客入込数
(単位 万人回)

H27	H28	H29
509	500	—

B
 まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合
(単位 %)

H27	H28	H29
77.7	78.5	—

C
 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」
(単位 位)

H27	H28	H29
63	117	—

戦略プロジェクト評価シート (H29 事中評価)

戦略プロジェクト名	「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト		
主管部等名	商工観光部, 農林部	部コード	13, 14
戦略プロジェクト 統括マネージャー	商工観光部長 沼田 秀彦 農林部長 長澤 秀則	内線番号	3700 6030

Step 1 戦略プロジェクトの全体像

1 戦略プロジェクトの概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

戦略プロジェクト への設定理由	<p>人口を維持していくためには、若者がどれだけ盛岡に残り、定住してもらえるのかという課題があり、この課題解決のためには、「やりがいのある仕事」、「安定した雇用形態」、「相応の賃金」といった雇用の質を重視した取組が重要であり、経済・産業全体の付加価値や生産性の継続的な向上につなげていくことが必要である。</p> <p>当市においても、人口減少社会の進展により、農畜産物や工業製品等のマーケット縮小や新規就農者をはじめとする農業の担い手の不足が懸念される中、食と農に関わる事業者やものづくり産業に属する事業者が事業活動の展開を図り、雇用を維持・創出することが重要課題となっている。</p> <p>そのために、一定の評価を得ている魅力のある盛岡産農畜産物の高付加価値化を図るとともに、食品加工産業やものづくり産業への支援、企業の誘致や異業種交流の促進などにより、第1次産業や第2次産業の成長を後押しし、活力のあるまちを実現する。</p>
戦略プロジェクト の取組内容	<p>本市の魅力ある農畜産物などの地域資源を活用した取組を進めるとともに、関連する食品関連産業やものづくり関連産業の高付加価値化や操業環境整備の取組により産業の振興を図る。</p> <p>また、戦略的な企業誘致や企業支援のほか、新たな市場開拓や新商品開発等を目的とした異業種交流の推進により、活力あふれるまちづくりを推進する。</p>
重点取組期間	平成29年度 ～ 平成31年度
期待する効果	産業の魅力・活力があふれるまちになる
対 象 (誰(何)を対象として行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> 農畜産物 製造業
意 図 (対象をどのようにしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 製造業の高付加価値化を図る。
目 標 指 標	農畜産物加工品販売額 27百万円 (平成31年度末)
	製造業粗付加価値額 4,377千万円 (平成31年度末)
	異業種交流における商談成立件数 110件 (平成31年度末)

Step 2 目標指標の推移

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標)

指標項目	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 (評価 時点)	30年度 実績	31年度 目標
A 農畜産物加工品販売額 (↑)	百万円	18	22	—		27
B 製造業粗付加価値額* ¹ (↑)	百万円	4,209	—	—		4,377
C 異業種交流における商談成立 件数* ² (↑)	件	27	43	58		110

*¹売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。

*²異業種交流における商談成立件数の目標値は、平成27年度からの累計である。

Step 3 戦略プロジェクトの進捗状況

「食と農」応援プロジェクトは、盛岡産農畜産物の魅力を高め、高付加価値化を進めることで農業と関連する食品加工産業等の振興を図ることを目的としており、当該プロジェクトに位置付けている事業にそれぞれ取り組んでいるところである。平成29年度は、新たに食と農のバリューアップ推進事業、もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業、地域おこし協力隊活用事業等を加え推進することとしている。

これらの取組の成果指標として、農畜産物加工品販売額を設定しており、目標値達成に向けて、それぞれの事業を着実に実施する。

商談成立件数については、平成28年度の実績において平成27年度の実績を下回ったが、平成29年度以降のマチナカ商談会（異業種交流商談会）においては、金融機関等との連携により、1回あたりの参加者数、商談成立件数ともに実績が向上している。また、今後は農政部門において進めている事業との連携により成立件数をさらに向上させることで目標達成を目指す。

また、平成29年度から、飲食店や小売店等で盛岡産の農産物等の活用を促す「盛岡市「食と農」「ものづくり」の魅力ある店舗促進事業補助金」を創設し、申請を受け付けている。

なお、若者を含めた人口流出解決のためには、新たな企業の進出や既存企業の拡充などによる新たな雇用の創出が必要であるが、当市において産業等用地の不足が喫緊の課題であることから、「ものづくり」応援プロジェクトとして、平成28年度に策定した新産業等用地整備基本計画に基づき新たな産業等用地整備に取り組んでいる。

Step 4 市民ニーズの把握

平成28年度盛岡市まちづくり評価アンケートの結果によると、「地域特性を生かした、地産地消の取組」について、「とても重要である」または「やや重要である」と答えた人の割合は67.2%となっているものの、満足度では、62.3%が「不満」または「どちらともいえない」と答えており、重要度が高い取組であるものの、満足が得られていない状況になっていると考えられる。

また、平成29年6月に実施した、商業振興ビジョン策定に係る事業者アンケートによれば、他事業者とのマッチングの機会や情報提供を求める声がある。

Step 5 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

平成29年度からの新規プロジェクトのため、該当しない。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況

3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

Step 6 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトの中で特に成果をあげた点

「食と農」

- 食と農の連携推進事業(盛岡の食材プロモーション事業)により、商談会などを通じたビジネス・マッチングが行われ、地域の農畜産物を使用したメニューを提供する飲食店等が増えている。
- 異業種交流の商談会をきっかけにし、新たな商品開発に結びつく事例がでるなどの成果を上げている。

「ものづくり」

- クリエイティブプロジェクト育成事業によりクリエイターのネットワーク形成及びクリエイティブ産業の認知度の向上が図られた。

(2) 成果をあげた要因

「食と農」

- 食と農の連携推進事業(盛岡の食材プロモーション事業)では、生産者と事業者との交流を促進するための商談会「もりおかマチナカ商談会&もりおか広域地域の交流食deマルシェ」を盛岡広域振興局と共催で開催し、地域食材の積極的な活用を促したことによる。
- 広域振興局や農政部門との連携を図り、それぞれで実施していた商談会・交流企画を、一元化することにより、効果的な情報の提供や企画を実施することができた。

「ものづくり」

- ・ クリエイティブプロジェクト育成事業をきっかけとして、クリエイティブ事業者の連携意識の醸成につながった。

(3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

「食と農」

- ・ 「盛岡の美味もんアンバサダー」認定制度等の取組を行うことにより、地産地消の推進と地域食材の活用を通じた都市ブランド力の向上を図る必要がある。
- ・ 広域振興局や農政部門との連携を更に強化していく必要がある。

「ものづくり」

- ・ クリエイティブ産業事業者は小規模事業者が多く、ネットワーク形成に継続的な支援が必要である。

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 戦略プロジェクトにおける現状の問題点（特に改善を急ぐべき点）

「食と農」

- ・ 地産地消推進のための食材供給体制の強化。
- ・ もりおか短角牛新規肥育農家の掘り起こしが容易ではないこと。
- ・ 農政部門と商工部門で実施している事業に関して十分に情報共有がされていない部分がある。

「ものづくり」

- ・ 新産業等用地整備事業において、全体の収支計画が確定していない。
- ・ 工場等新設拡充等事業において、補助金の申請状況が固定化している。
- ・ ものづくり産業魅力向上事業において、手づくり村の拠点性を高める上で、広域8市町の工芸品事業者のネットワーク化を（公財）盛岡地域地場産業振興センターを中心として取り組む必要がある。

(2) 現状の問題点が生じている原因

「食と農」

- ・ 農業就労人口の減少
- ・ 牛肥育農家の高齢化，零細化
- ・ それぞれが実施する事業に関して情報共有を図る機会がない。

「ものづくり」

- ・ 新産業等用地整備事業について、各部の今後の計画があるほか、国の交付金が減額傾向にあり、産業等用地整備を優先することが難しい。
- ・ 工場等新設拡充奨励事業補助について、大規模な設備投資が出来る市内企業には周知できているが、設備投資の可能性がある企業の現状の把握が限定的である。
- ・ ものづくり産業魅力向上事業について、工芸品事業者は個人経営者や零細事業者が多い。

(3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

「食と農」

- ・ 農業所得の向上，安定化
- ・ 肥育農家の経営安定
- ・ 定期的な情報共有の場の確保。

「ものづくり」

- ・ 新産業等用地整備事業については、全庁的に同じ目標を持って産業等用地整備事業に取り組む。
- ・ 工場新設拡充等事業については、企業訪問の取り組み強化による現状の把握の推進。
- ・ ものづくり産業魅力向上事業については、広域の工芸品事業者の横の連携も活用して現状の把握を推進。

Step 7 Step 5, 6を踏まえた改革改善案

「食と農」

- ・ 地域資源を活用して農畜産物の魅力を高める。
- ・ もりおか短角牛の需用拡大とブランド浸透のためのPRを強化する。

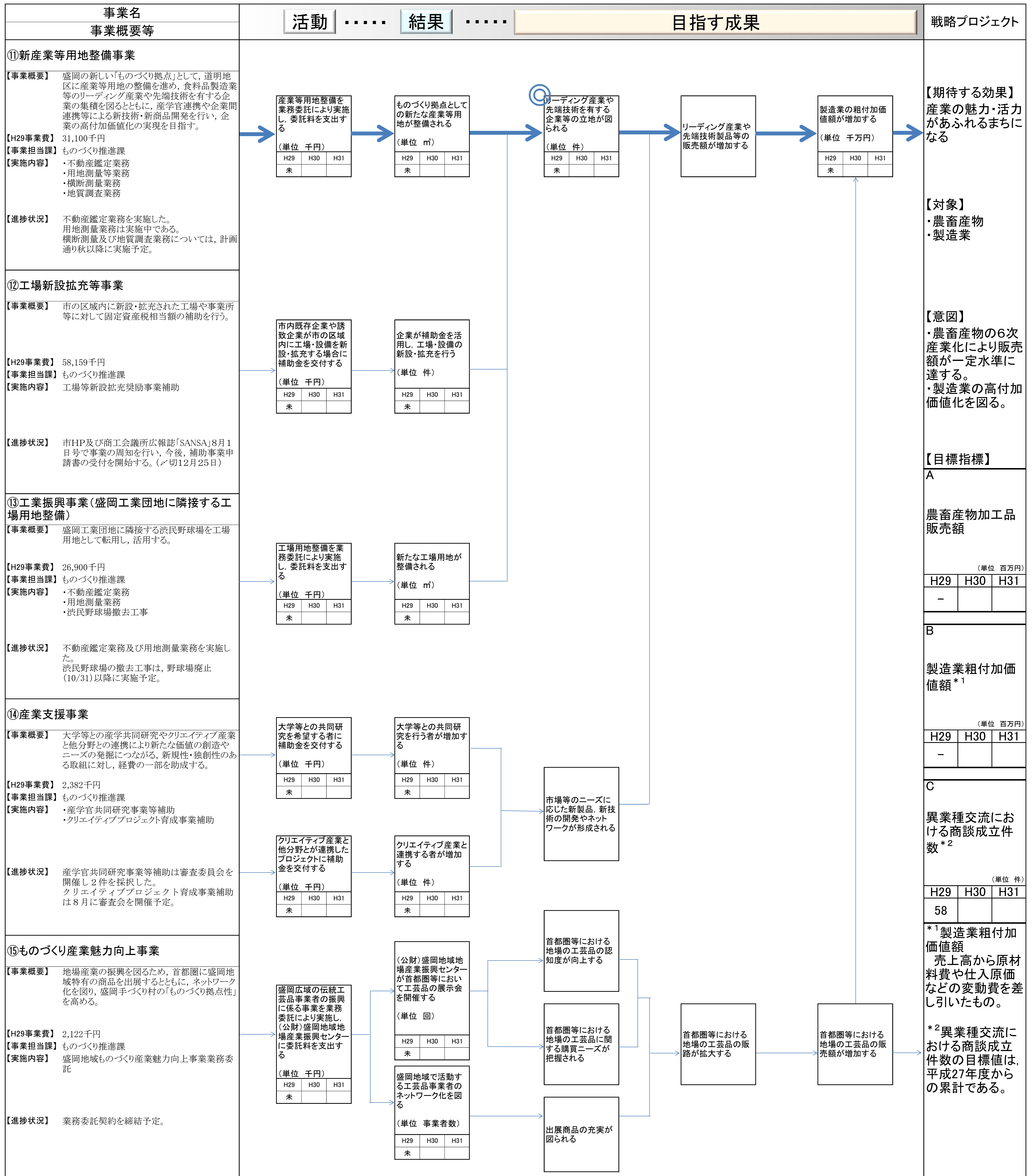
「ものづくり」

- ・ 新産業等用地整備事業については、関係各部との協議を進め、早期に全体の収支計画を策定する。
- ・ 工場新設拡充等事業については、企業訪問を継続し、企業の設備投資計画等を把握しながら本制度の周知に努める。
- ・ ものづくり産業魅力向上事業については、手づくり村の拠点性を高めるため、(公財)盛岡地域地場産業振興センターと連携しながら、広域の工芸品事業者のネットワーク化を図っていく。
- ・ クリエイティブプロジェクト事業については、事業継続により、より多くの地域クリエイターのネットワークの形成・活性化を図っていく。

※H29年度の数値は、評価時点の数値。

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																														
①食と農の連携推進事業(食と農のバリューアップ推進事業) 【事業概要】 食と農の連携をベースとした「所得の向上と夢のある農業」の実現に向けた戦略を策定し、その上で1次産業と2次産業、3次産業の連携の強化を図り、魅力ある盛岡農畜産物のブランド力向上と販路拡大、6次産業化の支援、盛岡の食の魅力発信等に取り組む。 【H29事業費】 25,000千円 【事業担当課】 食と農の連携推進室 【実施内容】 異業種連携をベースとした次の事業を実施する。 ・所得の向上と夢のある農業の実現に向けた戦略づくり。 ・生産者の6次産業化支援。 ・盛岡産農畜産物の魅力発信。 ・盛岡産農畜産物のブランド力の向上と販路拡大の支援。 【進捗状況】 ・7月13・14日に公募審査会を開催し、5事業の受託者を決定した。 ・7月26日に第1回の円卓会議を開催し、今後の取組概要を説明し、意見交換を行った。	多様な主体の参画による円卓会議を開催する (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			戦略に基づいて、各主体が、盛岡産農畜産物の魅力発信や利用促進に取り組むようになる	盛岡産農畜産物の認知度が向上する (単位 ブランド総合研究所調査「食品想起率の全国順位」) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table> 盛岡産農畜産物の生産量・生産品目が増加する	H29	H30	H31	未			【期待する効果】 産業の魅力・活力があふれるまちになる 【対象】 ・農畜産物 ・製造業 【意図】 ・農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 ・製造業の高付加価値化を図る。 【目標指標】 A 農畜産物加工品販売額 (単位 百万円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table> B 製造業粗付加価値額^{*1} (単位 百万円) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table> C 異業種交流における商談成立件数^{*2} (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>58</td><td></td><td></td></tr> </table> ^{*1} 製造業粗付加価値額 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。 ^{*2} 異業種交流における商談成立件数の目標値は、平成27年度からの累計である。	H29	H30	H31	-			H29	H30	H31	-			H29	H30	H31	58		
H29	H30	H31																																
1																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
-																																		
H29	H30	H31																																
-																																		
H29	H30	H31																																
58																																		
【H29事業費】 25,000千円 【事業担当課】 食と農の連携推進室 【実施内容】 異業種連携をベースとした次の事業を実施する。 ・所得の向上と夢のある農業の実現に向けた戦略づくり。 ・生産者の6次産業化支援。 ・盛岡産農畜産物の魅力発信。 ・盛岡産農畜産物のブランド力の向上と販路拡大の支援。 【進捗状況】 ・7月13・14日に公募審査会を開催し、5事業の受託者を決定した。 ・7月26日に第1回の円卓会議を開催し、今後の取組概要を説明し、意見交換を行った。	専門家による生産者の6次産業化の取組を検証・支援するセミナーを実施する (単位 参加者数) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			生産者がセミナーに参加する (単位 参加者数) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																						
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
【H29事業費】 25,000千円 【事業担当課】 食と農の連携推進室 【実施内容】 異業種連携をベースとした次の事業を実施する。 ・所得の向上と夢のある農業の実現に向けた戦略づくり。 ・生産者の6次産業化支援。 ・盛岡産農畜産物の魅力発信。 ・盛岡産農畜産物のブランド力の向上と販路拡大の支援。 【進捗状況】 ・7月13・14日に公募審査会を開催し、5事業の受託者を決定した。 ・7月26日に第1回の円卓会議を開催し、今後の取組概要を説明し、意見交換を行った。	メディアを利用した盛岡産農畜産物のPRを実施する (単位 掲載メディア数) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			メディアを通じて、消費者や事業者が、盛岡産農畜産物に関する情報を得る																										
H29	H30	H31																																
未																																		
②地域おこし協力隊活用事業 【事業概要】 人口減少とともに高齢化が進み、地域産業や地域活動に影響が出ていることから、「地域おこし協力隊」による、大ケ生地域の農畜産物の6次産業化、高付加価値化への取組を実施する。 【H29事業費】 8,000千円 【事業担当課】 農政課 【実施内容】 ・農林業や特産品の振興に係る活動 ・地域への誘客や交流に係る活動 ・地域行事や伝統芸能の支援に係る活動 ・地域ブランド等のプロモーションに係る活動 【進捗状況】 「地域おこし協力隊」が様々な地域行事等に参加し、地域の特性や魅力を探りながら、活動計画(ロードマップ)を作成中。	中山間地域の振興のため、地域おこし協力隊員を任用する。 (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			地域おこし協力隊が地域農産物等の振興活動や地域行事・伝統芸能の支援活動を行う。 (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																						
H29	H30	H31																																
1																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
③まちなかマッチング事業 【事業概要】 市内飲食店の経営者と農畜産物・水産物の県内生産者を対象に、商談会や見本市などを開催するとともに、商談成立につながるようなセミナーや空き店舗の情報提供などを行う。 【H29事業費】 6,000千円 【事業担当課】 経済企画課 【実施内容】 ・盛岡市内の飲食店等を対象とした商談会を実施する。 ・県内生産者による見本市(展示即売会)を実施する。 ・シェフ等プロ向けに、産地訪問ツアーを実施する。 【進捗状況】 ・平成29年6月20日に第1回の商談会が開催され、参加事業者間での商談の成立につながった。 ・平成29年8月1日～4日の期間に見本市が開催され、参加事業者が消費者に対してPRを行った。	県内生産者等による農畜産物等の見本市(展示即売会)を行う (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			飲食店等や市民(消費者)が見本市(展示即売会)に参加する (単位 人) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>29,153</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	29,153			盛岡産農畜産物や水産物を取り扱う飲食店等が増加する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未															
H29	H30	H31																																
1																																		
H29	H30	H31																																
29,153																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
【H29事業費】 6,000千円 【事業担当課】 経済企画課 【実施内容】 ・盛岡市内の飲食店等を対象とした商談会を実施する。 ・県内生産者による見本市(展示即売会)を実施する。 ・シェフ等プロ向けに、産地訪問ツアーを実施する。 【進捗状況】 ・平成29年6月20日に第1回の商談会が開催され、参加事業者間での商談の成立につながった。 ・平成29年8月1日～4日の期間に見本市が開催され、参加事業者が消費者に対してPRを行った。	盛岡市内の農畜産物事業者(以下「飲食店等」という。)を対象とした商談会を行う (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			飲食店等が商談会に参加する (単位 事業者) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>145</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	145																						
H29	H30	H31																																
1																																		
H29	H30	H31																																
145																																		
④食の農の連携推進事業(盛岡の食材プロモーション事業) 【事業概要】 市内の農業生産者と飲食店・ホテルなどのビジネスマッチング(商談会・シェフツアー)を支援し、地場農畜産物の地産地消を積極的に推進する。 【H29事業費】 1,960千円 【事業担当課】 食と農の連携推進室 【実施内容】 ・盛岡市内の飲食店等を対象とした商談会を実施する。 ・シェフ等プロ向けに、産地訪問ツアーを実施する。 ・盛岡産農畜産物を積極的に使ったメニューや商品(以下、「メニュー等」という。)を提供する市内の飲食店等を支援する。 【進捗状況】 ・6月20日に第1回の商談会が開催され、参加事業者間での商談の成立につながった。 ・6月16日から「盛岡の美味いもんアンバサダー」の募集を開始した。	飲食店等を対象とした産地訪問ツアーを行う (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			飲食店等が産地訪問ツアーに参加する (単位 事業者) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			「盛岡の美味いもんアンバサダー」認定事業者が増加する (単位 事業者) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未															
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
【H29事業費】 1,960千円 【事業担当課】 食と農の連携推進室 【実施内容】 ・盛岡市内の飲食店等を対象とした商談会を実施する。 ・シェフ等プロ向けに、産地訪問ツアーを実施する。 ・盛岡産農畜産物を積極的に使ったメニューや商品(以下、「メニュー等」という。)を提供する市内の飲食店等を支援する。 【進捗状況】 ・6月20日に第1回の商談会が開催され、参加事業者間での商談の成立につながった。 ・6月16日から「盛岡の美味いもんアンバサダー」の募集を開始した。	盛岡産農畜産物を積極的に利用する飲食店等に「盛岡の美味いもんアンバサダー」の認定を行う (単位 回) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			「盛岡の美味いもんアンバサダー」認定事業者が増加する (単位 事業者) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																						
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
⑤商店街活性化支援事業(まちなか出店促進事業) 【事業概要】 中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費の補助に加え、地元食材などを提供する店舗出店に対する補助を実施する。 【H29事業費】 2,800千円 【事業担当課】 経済企画課 【実施内容】 ・中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費に補助金を支出する。 ・盛岡産農畜産物や工芸品等を取り扱う店舗の仕入れ経費に補助金を支出することで、出店を促進する。 【進捗状況】 盛岡市「食と農」ものづくりの魅力ある店舗促進事業補助金を創設し、空き店舗出店費と併せて補助金を交付した。	中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費に補助金を交付する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			中心市街地に盛岡の農畜産物や工芸品等を取り扱う店舗が増加する (単位 店舗) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費に補助金を交付する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1															
H29	H30	H31																																
1																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
1																																		
【H29事業費】 2,800千円 【事業担当課】 経済企画課 【実施内容】 ・中心市街地の空き店舗に出店する際の改装費に補助金を支出する。 ・盛岡産農畜産物や工芸品等を取り扱う店舗の仕入れ経費に補助金を支出することで、出店を促進する。 【進捗状況】 盛岡市「食と農」ものづくりの魅力ある店舗促進事業補助金を創設し、空き店舗出店費と併せて補助金を交付した。	盛岡産農畜産物や工芸品等を取り扱う中心市街地の店舗の仕入れ経費に補助金を交付する (単位 件) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	1			中心市街地に盛岡の農畜産物や工芸品等を取り扱う店舗が増加する (単位 店舗) <table border="1"> <tr><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																						
H29	H30	H31																																
1																																		
H29	H30	H31																																
未																																		

事業名 事業概要等	活動	結果	目指す成果	戦略プロジェクト																														
⑥新規就農・経営継承総合支援事業 【事業概要】 農業を始めようとする人を対象に、就農に必要な基礎知識や農業情勢、支援制度等について学習する講座を開催するほか、新規就農者に対して、青年就農給付金の支給を継続するとともに、親元就農給付金制度を新設し、支援の拡充を図る。 【H29事業費】 23,029千円 【事業担当課】 農政課 【実施内容】 新規就農者の掘起こしと給付金の交付事務を行う。 ・青年就農給付金…年間最大150万円(夫婦225万円)、最長5年間。 ・親元就農給付金…年間最大60万円、最長2年間。 【進捗状況】 6月15日から7月14日まで親元就農給付金事業対象者の募集を行った。今後事業対象者を確定させていく。	青年就農給付金を交付する (単位 交付件数) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			青年給付金を活用した新規就農者が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未				【期待する効果】 産業の魅力・活力があふれるまちになる 【対象】 ・農畜産物 ・製造業 【意図】 ・農畜産物の6次産業化により販売額が一定水準に達する。 ・製造業の高付加価値化を図る。 【目標指標】 A 農畜産物加工品販売額 (単位 百万円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table> B 製造業粗付加価値額*1 (単位 百万円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table> C 異業種交流における商談成立件数*2 (単位 件) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>58</td><td></td><td></td></tr> </table> *1 製造業粗付加価値額 売上高から原材料費や仕入原価などの変動費を差し引いたもの。 *2 異業種交流における商談成立件数の目標値は、平成27年度からの累計である。	H29	H30	H31	-			H29	H30	H31	-			H29	H30	H31	58		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
-																																		
H29	H30	H31																																
-																																		
H29	H30	H31																																
58																																		
⑦畜産振興事業(もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業) 【事業概要】 もりおか短角牛の生産維持と畜産振興を図るため、子牛(肥育素牛)の導入経費に対する補助制度を新設する。 【H29事業費】 5,000千円 【事業担当課】 農政課 【実施内容】 補助対象 もりおか短角牛肥育農家 補助内容 子牛(肥育素牛)の購入価格が1頭につき15万円を超える場合、その超えた額の4/5に相当する額以内の額を補助(上限25万円)する。 【進捗状況】 肥育素牛の導入経費に対する補助制度を定め、制度の周知を図っている。	もりおか短角牛肥育農家に対し、子牛(肥育素牛)購入に係る補助金を交付する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			もりおか短角牛の子牛(肥育素牛)を導入する農家が増加する (単位 経営体) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			もりおか短角牛の肥育頭数が増加する (単位 頭) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			もりおか短角牛の出荷頭数が増加する (単位 頭) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未								
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
⑧畜産振興事業(もりおか短角牛振興事業) 【事業概要】 もりおか短角牛フェアを通じ、飲食店とのマッチングやPR活動を行い、もりおか短角牛の振興を図るため、もりおか短角牛振興協議会へ補助金を支出する。 【H29事業費】 300千円 【事業担当課】 農政課 【実施内容】 もりおか短角牛振興協議会に補助金を支出する。 【進捗状況】 事業の展開方法について、もりおか短角牛振興協議会と協議中。	もりおか短角牛振興協議会に対し、補助金を交付する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			もりおか短角牛振興協議会が、もりおか短角牛フェアなど普及宣伝に係るPR事業を行う 	もりおか短角牛を利用する飲食店が増加する (単位 店舗) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			もりおか短角牛の認知度が向上する 																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
⑨玉山地域賑わい創出事業(総合交流ターミナル機能の拡充) 【事業概要】 ユートランド姫神の再整備により、都市部等の若者をターゲットに「非日常空間を提供する施設」として、交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点としての機能を拡充する。 【H29事業費】 105,680千円(H28繰越分) 【事業担当課】 産業振興課 【実施内容】 交流ホール、宿泊棟、クアハウス等の改修や屋外交流サイトの新築など機能拡充の施設整備を行う。 施設等の効果促進のため、ユートランド姫神を拠点とした交流・体験促進事業や消費・販路拡大事業などのソフト事業を実施する。 【進捗状況】 ・消耗品予算額480千円未執行 ・設計業務委託料予算額7,553千円 執行済額5,680,800円 ・ソフト事業委託料予算額4,725千円未執行 ・工事請負費予算額88,784千円未執行 ・備品購入費予算額4,138千円未執行	ユートランド姫神の施設を再整備し機能を拡充する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			盛岡農畜産物を販売・提供する拠点がユートランド姫神に整備される 	ユートランド姫神の農家カフェの利用客数が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			ユートランド姫神の農家カフェの営業利益が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未														
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
			ユートランド姫神の宿泊客数が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			ユートランド姫神の営業利益が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																				
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
			ユートランド姫神の日帰り温泉客が増加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			ユートランド姫神の経常利益が増加する (単位 千円) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																				
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		
⑩地域おこし協力隊活用事業(再掲) 【事業概要】 産業振興課に地域おこし協力隊2名を配置し、地域おこしに係る各種事業を展開する。 【H29事業費】 7,377千円 【事業担当課】 産業振興課 【実施内容】 ユートランド姫神など地域拠点施設への誘客促進や交流・観光拠点、地域農業の6次産業化拠点として同施設を軸とした、玉山地域のニューツーリズムの企画運営を行う。 【進捗状況】 7月に1名、8月に1名、計2名の地域おこし協力隊員着任済	地域おこし協力隊と市指定管理者等が各種事業を企画実施する (単位 件) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未			ユートランド姫神などの地域拠点施設でのイベント等に市民等が参加する (単位 人) <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td></tr> <tr><td>未</td><td></td><td></td></tr> </table>	H29	H30	H31	未																						
H29	H30	H31																																
未																																		
H29	H30	H31																																
未																																		



ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡を目指して
…進めています,自治体経営



行政評価結果

問合先 盛岡市市長公室 企画調整課

〒 020-8530 盛岡市内丸 12 番2号

電話 019-613-8394(直通)

電子メール kikaku@city.morioka.iwate.jp
